

関西ハーモニカ連盟会報

ハーモニー

Harmony



ドレミちゃん
© 関西ハーモニカ連盟 2011

199
2014年4月

関西ハーモニカ連盟 組織 2014年2月15日現在

会 長 仲村 眞 〒558-0054 大阪市住吉区帝塚山東 1-7-15 フォルム帝塚山 309号
TEL 06-6674-0152 FAX も同じ

理 事 長 吹上晴彦 〒602-8488 京都市上京区真倉町 757-107
TEL 075-411-1531 FAX も同じ

副理事長兼事業部長 梁木 進 〒599-8116 堺市東区野尻町 192-20
TEL 072-284-8808 FAX 072-286-4890

事業部長補佐 常任理事 (以下役職名省略) 岩本洋之、内田常雄、金丸寿夫、喜多創平
坂田利雄、竹本雅英、保理江元子

副理事長兼事務局長 村上博昭 〒630-0141 生駒市ひかりが丘 1-13-20
TEL 0743-79-9559 FAX も同じ

事務局長補佐 角野まゆみ

編 集 局 長 もり・けん 〒594-0041 和泉市いぶき野 4-1-4-209
TEL 0725-57-7235 FAX 06-6353-1393 (会報の原稿は会報編集室まで)

連盟会報編集室 (会報の原稿の送付先、会報誌に関する問い合わせ等) もり・けん、吉房絵美
harmonica@cardandmedia.co.jp
〒530-0037 大阪市北区松ヶ枝町 6-12 西栄ビル 2F H・U・N企画内
TEL 06-6352-8005 FAX 06-6353-1393

編集局長補佐 田口幸輝

研 修 部 長 小林由美子 〒662-0046 西宮市千歳町 7-42
TEL 0798-22-1844 FAX も同じ

研修部長補佐 浅井瀧子、住田陽子、永野富康、西本豪介、丸山茂生

組 織 部 長 梅田恒弘 〒611-0021 宇治市宇治塔川 3-11
TEL 0774-21-2373 FAX 0774-39-5506

組織部長補佐 松岡郁子、渡辺晃志

会 計 部 長 柴田正之 〒654-0013 神戸市須磨区大手町 5-3-1
TEL 078-734-5157 FAX も同じ

会計部長補佐 新山ミツ子

理 事 (五十音順) 浅田道一、浅見満夫、新井尚子、飯塚昭、稲垣裕子、井上純一、今井康郎
上垣博子、小川未佐子、尾崎雄三、小野浩子、金谷輝夫、鐘ヶ江義行、神戸栄一郎
木ノ山洋子、木原淳、斉藤正勝、酒巻勇二郎、澤田敏晴、園真佳、高阪他美子、高瀬豊一
高山美千代、竹内寿子、谷正雄、谷口昌子、辻田鑑三、辻部暁子、戸田秀徳、富久鉄男
仲井治夫、中谷晃、中西富佐男、中村あけみ、七井まゆみ、野村俊夫、羽原伸示
早川直也、林和子、林一義、原田和春、原田忠雄、福島隆志、藤本勇、藤原延之
松川義明、松本千佳子、道下雅之、光野利一郎、山口昌代、和谷篤樹、渡邊義明 52名

会 計 監 査 山本健司

常 任 顧 問 (五十音順) 大石喜一郎、岡谷秀喜、後藤貞男、笹山恵司、田中祥雄、寺村安雄
村上浩一、吉村則次 8人

顧 問 (五十音順) 入江章次、岡村貞彦、織田太郎、楠 陽児、西田幸司、村田 潤、
渡辺 昇 7人

特 別 顧 問 (五十音順) 甲賀一宏、斎藤寿孝、十河陽一、徳永延生、森本恵夫、和谷泰扶 6人

関西ハーモニカ連盟 ホームページ <http://www.glayva.net/kansai.htm>

入会のご案内 組織部長

入会金：1000円 (団体は1団体1律1000円)

年会費 (1月から12月)：

個人会員 5000円、地域外個人会員 5000円、準会員 (30歳未満の方) 1000円

団体会員 (5名以上の団体で1名につき) 1000円、賛助会員 10000円

郵便振替口座：00950-6-115527、加入者名：関西ハーモニカ連盟、通信欄に「入会申し込み」と記入してください。

ハーモニカが好きなら、吹く方、吹かない方、上手な方、下手な方、上手になりたい方、ニュースだけほしい方等、どなたでも入会できます。



目次

関西ハーモニカ連盟会報 ハーモニ 第199号 (2014年4月号)

発行部数 600 毎年4、7、10、1月に発行 (送付はそれぞれ前月中下旬)

表紙写真は、原田和春さんのお孫さん原田貴弘くん。

裏表紙写真は、原田和春さんのお孫さん原田桃羽ちゃん(右)、池田アゼリア高石さんのお嬢さん(左)。

平成26年 定時総会挨拶	理事長	2
平成26年 定時総会報告	事務局長	3・4
関西ハーモニカ連盟 組織	組織部長	5
平成25年度 一般会計 決算報告及び26年予算案	会計部長	6
第4回チャリティハーモニカコンサート決算	事業部長	7
第24回関西ハーモニカ祭り決算	会計部長	8
中国ハーモニカ連盟との交流旅行収支一覧	事業部長	9
社会福祉寄金の報告	会計部長	10
平成25年度研修会収支報告	研修部会計	11
関西ハーモニカ連盟 特別会計元帳 等	会計部長	12
平成25年度会費・入金入金内訳	会計部長	13
関西ハーモニカ連盟会報第200号記念号を迎えるにあたって	もり・けん	13
当連盟平成26年度総会	写真提供: 吉村剛次・梅田恒弘	14・15
関西ハーモニカ連盟合宿研修会	事業部長	16
関西ハーモニカ連盟合宿研修会 概要	事業部長	17
2014年の研修会予定	研修部長	18
第10回西日本ハーモニカコンテスト 募集要項	事業部長	19
ハーモニカカレンダー	編集部	20~22
日本ハーモニカ芸術協会関西支部連合会 楽典基礎勉強会のご案内	村上 柳昭	23
デュオ・ユツトラ&アンサンブルハモ二館によるハーモニカ・リサイタルを聴いて	源馬 英人	24
デュオ・ユツトラ&アンサンブルハモ二館リサイタルお礼	吹上 晴彦	25
ハモ二館合同望年会コンサート	源馬 英人	25・26
豪華な南里沙さんの「2014はじまりの響き」コンサート	吉村 則次	26
お花見吹きまくり会 4月6日、日曜日堺市大仙公園で	吉村 則次	27
MDとカセットテープレコーダーあったらすぐ買っておこう	吉村 則次	28・29
メジャーデビューしたクロマチックハーモニカ奏者 南里沙さん	村上 浩一	29
老人ホーム慰問10年続いています	吉岡 欣子	30
関西にも優しいあつぎハーモニカ・コンサート	吉村 則次	30
楽しい「もみじ〜ず」の活動	松浦 千恵	31
ますます盛んな徳永教室発表会 リハなしの生伴奏にどきどき	吉村 則次	32
和谷泰扶さんの演奏が69分に亘り YouTubeに	吉村 則次	32
心にともる息づくメロディー 和谷篤樹さん	仲村 眞	33
楽器の奥深さ伝える 小林由美子さん	新聞記事提供	34
ハーモニ 第200号記念号 原稿締切日のご案内	編集部	34
ハーモニカ以外の音楽を聞こう 吹奏楽アンサンブルコンテストを見て	吉村 則次	35
温故知新 古い教則本より「An Arizona Home 丘のわが家」「Blauer Himmel」	寺村 安雄	36・37
平成25年大阪市戦没者追悼式・慰安会に出席して	寺村 安雄	38・39
大阪市戦没者追悼式でのハーモニカ演奏を聴いて	小川 ふじ子	39
「女性ハーモニカトリオミネストローネCD発売」	もり・けん	39
ハーモニカが上達するための大切なこと(54)	池田 柳樹	40・41
トッキー第1号は宮田ハーモニカバンド	吉村 則次	41
童謡の力	村上 浩一	41
春ジョイントコンサートを開催〜カントリーバンドと共演〜	坂田 利雄	42・43
ハーモニカ奏者 高比良由郎さん急逝	吹上 晴彦	44
新刊紹介 吹いたら楽しい!おもしろソング!【改訂版】	編集部	45
ハーモニカで音楽の力実感	田口 幸輝	45
宇野宗佑先生伝(ハーモニカを愛す百人の会より)	菅村 一雄	46・47
ハーモニカ川柳	島本謙・新田真理・吉村剛次	48
ハーモニカ合奏に指揮者は必要か? 15人以内なら、指揮者はいらぬ	吉村 則次	48・49
くわらんかカルテット第7回ハーモニカコンサート	山本 義信	50
会員異動のお知らせ	組織部長	51
お詫びと訂正	編集部	51
編集後記	もり・けん	52
情緒育てる童謡を伝える	もり・けん	52



平成 26 年 定時総会挨拶

理事長 吹上 晴彦



当連盟の理事長を仰せつかっております吹上です。よろしく願い申し上げます。

毎年この時期、きびしい寒さの中、総会にお集まりいただきありがとうございます。今日は斎藤特別顧問

にもご出席いただいております、後ほどお言葉を頂戴いたします。私が理事長に就任した年の総会にも斎藤先生にはお越しいただき、その折に先生から関西ハーモニカ連盟の会員数は少なすぎると言われました。当時会員数は304名でした。

そのご叱責に応えるべく組織改革のための委員会、リフォメーション委員会を理事長直轄の委員会としてその年の2月11日付けで提案、組織し、委員長に柴田常任理事になってもらいました。

会員増強、会報の取り扱い、研修部の充実、会則見直し、組織部強化と多くの改革に取り組んでまいりました。おかげで会員数も昨年12月31日現在で準会員・団体会員含め1022名の組織になり、ほかの地方団体では見ないほどの大きな組織になりました。会員数増加に伴い、組織部をはじめ各部局の見直しが必要かつ不可欠な新たな検討事項となってまいりました。

さて、私は新しい年には機会があれば文楽の初春公演を聴きに行きます。文楽はユネスコ無形文化遺産にも登録されている大阪発祥の芸術です。その保護のために補助金を国・大阪府・大阪市・NHKが出しています。

しかし、大阪市は初春公演の有料入場者数10万5千人を3900万円満額支給ラインとし、9万人以下なら補助金0と言いました。1月26日に千秋楽を迎えた初春公演入場者数は10万1204人で約700万円補助金カットと報道されています。

文化・芸術において、数云々というのはおかしなことです。当連盟おきましては会員増強の数値目標を掲げてきましたが、数だけが目標ではありません。

関西ハーモニカ連盟は、会員の皆様でなりたつ団体であり、会員一人ひとりの為にある組織です。

文楽にご縁をいただき行った折には、今年90歳になられる現役最高齢で人間国宝の七世竹本住大夫 師匠の楽屋見舞いにお伺させていただきました。師匠は昨年、文楽への取り組みが評価され「菊池寛賞」を受賞、その模様がテレビニュース番組で放送されました。内容は師匠が一昨年の夏に脳梗塞で倒れ、50歳代60歳代がするような激しいリハビリのあと昨年の初春公演に出演したものです。

文楽への取り組み、姿勢が評価されての受賞です。その番組の中で「死んでからも稽古に行かなあ あきまへんな」と言っています。

名人芸を持つ人間国宝が、出番前の時間を割き、話していただいています。今年、楽屋で見せられた顔は、「倒れてから腹に十分力がはいりまへん、まだ右手が痺れてまんねん。みんなのおかげでこうして舞台が務められる。ありがたいことすなあ・・・」と今までに見せない弱さを見せられました。

しかし、舞台では、床が回って、語りが始まると楽屋で見せた顔とは別人の師匠でした。第一声で目頭が熱くなりました。そして、舞台一番一番で命を懸けて真剣勝負されている姿に感動しました。

その七世 住大夫師匠が六世から怒られたことで「上手ぶってするな!」と言われたことがあります。このことは我々も気を付けなければならないところで、たかがハーモニカ、上手ぶって吹くなということです。もっとハーモニカ音楽に対して謙虚にならねばならないと思います。師匠がよく云われるのは「最後は人間性でんな」という言葉です。ハーモニカ演奏にはその人の

人柄が出ます。私は従前より申し上げておりますようにハーモニカ演奏は聴く人に品性を感じさせるべきだと念じております。人品、すなわち人の品位は作れるものでなく、自然に備わるものだと思っています。

昨年、連盟におきまして物故者がおられます。1月に連盟の常任顧問だった新井喜久さんが亡くなりました。新井さんは故 小林忠夫先生と京都ハーモニカカルテットで演奏活動、その後、後進の指導に当たられていました。

また先日、当連盟にとって大切な人を亡くしました。理事である高比良由郎さんが急逝されました。高比良さんは、表立って出る方ではなかったのご存知でない方もおられると思いますが、常に私どもを支えていただきました。

学ぶ側の立場であるという姿勢を絶対崩さな

い、人生の大先輩でした。こよなくハーモニカを愛され、告別式の最後に流された今年の1曲の演奏は涙せずには聴けませんでした。その演奏は高い人格とそれを物語るように謙虚で、丁寧に表現されているきれいな、そして、やさしい音色でした。ご冥福をお祈り申し上げます。

最後になりましたが、当連盟にも人間国宝さんがおられます。大阪ローカル番組「よ〜いドン」の番組の中で認定された「となりの人間国宝さん」が何人かおられますが、なかでも現役最高齢の指導者・演奏家として、今年90歳になられる村上浩一先生、我々は先生のような方に指導を仰ぎ、今年も聴く人にすばらしい品性と魅力を感じてもらえるような演奏を目指したいと思います。

本日はありがとうございました。

平成26年度 定時総会報告

関西ハーモニカ連盟
事務局長 村上博昭

平成26年2月11日 大阪市西区 徐園 において定時総会が開催されました
仲村会長、吹上理事長挨拶のあと、次の事項が報告され決定しました

1号議案 平成25年度(前年度)事業報告

事務局長より 総会、常任理事会(7回)の実施報告
連盟後援行事の報告(10件)

組織部長より 会員異動報告
12月31日現在

	会員数	(内賛助会員)	新規加入者	退会者
個人会員	298	2	35	27
準会員	4		4	
団体会員	706(57組)		706	
合計	1,008			

事業部長より

- 平成25年4月13日 チャリティーコンサート(クレオ東大阪)
演奏者 複音 3名、クロマチック 1名、カルテット1組。
- 平成25年10月12日13日 関西ハーモニカ祭り 会場 豊中市 アクア文化ホール
出演者 ソロ64名、アンサンブル82組(788名) 合計850名
- 平成25年10月19日・20日 中国・関西・釜山・ハーモニカ交流コンサート
出演者 49組 (岡山 16組、中国3県 7組、関西 18組、釜山 8組)

研修部より

研修会 4回実施

	開催日	内容
第1回	平成25年5月12日	表現力をアップさせよう(松田昌)
第2回	平成25年7月14日	複音ハーモニカを使っの「バンド奏法」と「和音伴奏法」(山口牧)
第3回	平成25年9月8日	音楽の基礎知識・演奏個別指導(小林由美子)
第4回	平成25年11月10日	複音ハーモニカの調律(鈴木楽器販売(株)竹森雅弘)

編集局長 会報の発行 年4回(4月・7月・10月・1月) 毎回 600部印刷
現在198号、2014年7月 200号の予定

リフォーメーション委員長
体制変更 団体会員・準会員

2号議案 平成25年度収支決算報告書承認の件

会計部

会計監査より 平成25年度決算および会計監査報告があり承認されました

3号議案 理事選任の件

理事

会長 仲村真 (留任)

理事選任 飯塚昭、小川未佐子、竹内寿子、富久鉄男、松本千佳子、道下雅之

会計監査 山本健司(留任)

4号議案 平成26年度 事業計画承認の件

事業部関連

事業名	開催日	場所
第10回西日本ハーモニカコンテスト	平成26年8月23日	堺市 サンスクエア堺
第3回合宿交流会	平成26年9月27日・28日	新大阪 ココプラザ
第25回関西ハーモニカ祭り	平成26年10月12日・13日	奈良市 なら100年会館

研修部より

	開催日	内容	場所
第1回	平成26年5月25日	講師：和谷 泰扶	愛日会館
第2回	平成26年7月27日	講師：小林 由美子	愛日会館
第3回	平成26年9月7日	講師：十河 陽一	愛日会館
第4回	平成26年11月9日	講師：松田 幸一	愛日会館

6号議案 平成26年度予算案承認の件

会計部長

平成26年度予算案の説明があり 承認されました(別紙掲載)

総会終了後の連絡事項
役員異動報告

異動

	新任・再任	退任
組織部長	梅田恒弘	岡谷秀喜 常任顧問就任
会計部長	柴田正之	笹山恵司 常任顧問就任
常任理事	浅井瀧子(神戸市) 研修部補佐	高阪他美子 理事就任
	丸山茂生(川西市) 研修部補佐	
	渡辺晃志(川西市) 組織部補佐	
	住田陽子(西宮市) 研修部補佐	
	永野富彦(津市) 研修部補佐	
	岩本洋之(生駒) 事業部補佐	
	角野まゆみ(神戸市) 事務局補佐	
	内田常雄(三木市) 事業部補佐	
理事	小川未佐子(神戸市)	出村恭彦(自己都合)
	飯塚昭(大阪市)	道下雅之(自己都合退任後再任)
	富久鉄男(芦屋市)	木谷悦子(自己都合)
	竹内寿子(西宮市)	
	松本千佳子(西宮市)	
	道下雅之(再任)	
	高阪他美子(常任理事より)	
常任顧問	岡谷秀喜	新井善久(自己都合)
	笹山恵司	

会長 仲村真 (留任)
会計監査 山本健司(留任)



関西ハ一モニカ連盟 組織

★マークは新任者・昇任者 ☆マークは異動者です

会長	仲村 真	〒558-0054 大阪市住吉区帝塚山東1-7-15 フォルム帝塚山 309号 電話 06-6674-0152 FAXも同じ	1人	
常任	理事長	吹上 晴彦	〒602-8488 京都市上京区瓦倉町757-107 電話 075-411-1531 FAXも同じ	24人
	副理事長 (兼)事業部長	梁木 進	〒545-0005 堺市東区野尻町192-20 電話 072-284-8808 FAX072-286-4890	
		(事業部長補佐)	常任理事(以下役職名省略)★岩本洋之、★内田常雄、金丸寿夫、喜多創平 坂田利雄、竹本雅英、保理江元子	
	副理事長 (兼)事務局長	村上 博昭	〒630-0141 生駒市ひかりが丘1-13-20 電話 0743-79-9559 FAXも同じ	
		(事務局長補佐)	★角野まゆみ	
編集局長	もり・けん	〒594-0041 和泉市いぶき野4-1-4-209 電話 0725-57-7235 FAXも同じ		
	(編集局長補佐)	田口幸輝		
理事	研修部長	小林 由美子	〒662-0046 西宮市千歳町7-42 電話 0798-22-1844 FAXも同じ	
		(研修部長補佐)	★浅井瀬子、★住田陽子、★永野富康、西本豪介、★丸山茂生	
	組織部長	★梅田恒弘	〒611-0021 宇治市宇治塔川3-11 電話 0774-21-2373 FAX 0774-39-5506	
		(組織部長補佐)	松岡郁子、★渡辺晃志	
会計部長	★柴田正之	〒654-0013 神戸市須磨区大手町5-3-1 電話 078-734-5157 FAXも同じ		
	(会計部長補佐)	新山ミツ子 (外部委託税理士)		
理事(50音順)	浅田道一、浅見満夫、新井尚子、★飯塚昭、稲垣裕子、井上純一、今井康郎、上垣博子 ★小川未佐子、尾崎雄三、小野浩子、金谷輝夫、鐘ヶ江敏行、神戸栄一郎 木ノ山洋子、木原淳、斉藤正勝、酒巻勇二郎、澤田敏晴、園真佳、★高阪他美子、高瀬豊一 高山美千代、★竹内寿子、谷正雄、谷口昌子、辻田鏡三、辻部暁子、戸田秀徳、★富久鉄男、仲井治夫 中谷晃、中西富佐男、中村あけみ、七井まゆみ、野村俊夫、羽原伸示、早川直也、林和子、林一範 原田和春、原田忠雄、福島隆志、藤本勇、藤原延之、松川義明★松本千佳子、★道下雅之、光野利一郎 山口昌代、和谷篤樹、渡邊義明		52人	
会計監査	山本健司		1人	
常任顧問(50音順)	大石喜一郎、★岡谷秀喜、後藤貞男、★笹山恵司、田中祥雄、寺村安雄、村上浩一、吉村則次		8人	
顧問(50音順)	入江章次、岡村貞彦、織田太郎、楠陽児、西田幸司、村田潤、渡辺昇		7人	
特別顧問(50音順)	甲賀一宏、斉藤壽孝、十河陽一、徳永延生、森本恵夫、和谷泰扶		6人	

平成 25 年度 一般会計 決算報告 及び 26 年度 予算案

自 平成 25 年 1 月 1 日 至 12 月 31 日

関西ハーマニカ連盟
 会計部長 笹山恵司
 2013年12月31日

内 訳	平成25年度			平成26年度	
	予算額	決算額	増減	予算額	
(収入の部)					
(単位:円)					
前年度より繰越金	①	2,071,635	2,071,635	0	2,808,970
単年度収入 a+b+c+d	②	1,513,200	2,313,457	800,257	2,249,500
会費収入(準個賛団合計)	a	1,470,000	2,198,000	728,000	2,198,000
入会金(準個賛33団56合計89)	b	42,000	89,000	47,000	50,000
受取利息	c	1,200	1,457	257	1,500
雑収入(詳細:下記別表A)	d	0	25,000	25,000	0
合 計 ①+②	③	3,584,835	4,385,092	800,257	5,058,470
(支出の部)					
編集局費用 e+f+g	④	1,031,200	1,159,797	128,597	1,250,000
会報印刷代	e	580,000	749,968	169,968	800,000
発送費用	f	390,000	350,115	-39,885	380,000
編集室維持管理費その他事務費	g	61,200	59,714	-1,486	70,000
事務費 ⑥+⑦+⑧+⑨+⑩	⑤	482,000	416,325	-65,675	451,000
理事会費用 h+i+j+k	⑥	333,000	282,159	-50,841	306,000
運営及びコピー代	h	57,000	15,300	-41,700	30,000
通信費・文房具その他事務費	i	5,000	6,259	1,259	5,000
活動費	j	96,000	96,000	0	96,000
常任理事会等交通費	k	175,000	164,600	-10,400	175,000
事務局費用 L+m	⑦	19,000	12,550	-6,450	19,000
通信費	L	4,000	2,630	-1,370	4,000
文房具その他事務費	m	15,000	9,920	-5,080	15,000
組織部費用 n+o	⑧	64,000	63,447	-553	70,000
通信費	n	46,000	45,830	-170	50,000
文房具その他事務費	o	18,000	17,617	-383	20,000
交際費(慶弔金等)	⑨	30,000	22,169	-7,831	20,000
広報費(インターネット関連)	⑩	36,000	36,000	0	36,000
合 計 ④+⑤	⑪	1,513,200	1,576,122	62,922	1,701,000
単年度繰越(余剰)金 ②-⑪	⑫	0	737,335	737,335	548,500
次年度へ繰越金 ③-⑪	⑬	2,071,635	2,808,970	737,335	3,357,470

雑収入 別表A

懇親会費(徐園に支払)残金	15,000
お祝金・鈴木楽器販売株式会社大阪支店	10,000
合 計	25,000

監査の結果上記の通りと認めます。 2014年1月26日

関西ハーマニカ連盟
 会計監査 山本健司

第4回チャリティハーモニカコンサート決算

平成25年4月13日実施
於クレオ大阪東

関西ハーモニカ連盟
事業部長 梁木 進
平成25年5月18日

(単位：円)

収入の部		支出の部			
項目	金額	項目	金額	摘要	
チケット販売	前売り券 398	796,000	ホール使用料	149,270	照明等含む
	当日券 8枚	20,500	音響技術員費	104,000	
		プログラム印刷	0	製作せず	
募金箱	0	プログラム用紙	0	製作せず	
DVD売上	40,000	チケット作成	17,300		
		出演者発送費用	0		
		チケット発送費用	4,640		
		封筒製作費	14,490		
		チラシ印刷	91,350		
		打ち合わせ交通費	2,000		
		司会者お礼	30,000	花田氏	
		看板制作費	16,100		
		出演者昼食費	40,000	8名	
		世話人交通費	44,000		
		雑費	780		
		アンケート用鉛筆	7,890		
		アンケート用紙及びコピー代	5,000		
		ビデオ撮影基本料	10,000		
		支出合計金額	536,820		
		余剰金額	319,680		
合計金額	856,500	合計金額	856,500		

上記余剰金額 319,680円 は社会福祉基金として寄付致しました
2014年1月26日

関西ハーモニカ連盟
会計部長 笹山 恵爾

右合計金額を 朝日新聞 厚生文化事業団 へ振込みました (領収証は 縮小コピー)	チャリティハーモニカコンサート余剰金	319,680
	ハモニカまつり寄付金	12,290
	千歳町寄付金	5,000
	送金料	-290
	合計	336,680

監査の結果上記の通りと認めます。

2014年1月26日

関西ハーモニカ連盟
会計監査 山本 健司

第24回関西ハーモニカ祭り決算

2013/10/12～13実施

於 豊中市立アクア文化ホール

関西ハーモニカ連盟

会計部長 笹山恵司

2013年12月31日

(単位:円)

収入の部	内 訳	今 回 2013/10/12～13実施			参 考 (前年度) 2012/10/27～28実施			
		予算額	決算額①	増減①	決算額②	増減②		
		(件)			(件)			
	出演者分担金	61	366,000	366,000	0	53	318,000	48,000
	Ⅰ ソロ	5	40,000	40,000	0	6	48,000	-8,000
	Ⅱ デュオ	3	27,000	27,000	0	2	20,000	7,000
	Ⅲ トリオ	17	170,000	170,000	0	20	240,000	-70,000
	Ⅳ アンサンブルA(4～6名)	18	216,000	216,000	0	18	270,000	-54,000
	Ⅴ アンサンブルB(7～10名)	20	280,000	280,000	0	19	380,000	-100,000
	Ⅵ アンサンブルC(11～15名)	14	210,000	210,000	0	17	408,600	-198,600
	Ⅶ アンサンブルD(16名以上)	3	9,000	9,000	0	0	0	9,000
	ピアノ							
	応募小計①	141	1,318,000	1,318,000	0	135	1,684,600	-366,600
	広告収入②		90,000	90,000	0		90,000	0
	収入合計①+②		1,408,000	1,408,000	0		1,774,600	-366,600

支出の部

内 訳	予算額	決算額①	増減①	決算額②	増減②
会場費合計	509,790	542,750	32,960	509,790	32,960
ホール使用料等総計	262,550	400,265	137,715	262,550	137,715
音響・照明人件費・設備使用料	247,240	142,485	-104,755	247,240	-104,755
プログラム印刷費	151,200	143,745	-7,455	151,200	-7,455
看板制作費	11,300	14,000	2,700	11,300	2,700
司会者人件費 (2人分)	60,000	60,000	0	60,000	0
関係者食事代等	39,630	44,244	4,614	39,630	4,614
交通費	111,860	54,400	-57,460	111,860	-57,460
諸費(コピー、郵送、小物等)	54,560	34,786	-19,774	54,560	-19,774
不慮の事故保険料	0	0	0	0	0
ゲスト演奏者に謝礼	15,000	0	-15,000	15,000	-15,000
打ち上げ懇親会費不足分補填	0	0	0	0	0
合 計	953,340	893,925	-59,415	953,340	-59,415

差引金額	454,660	514,075	59,415	821,260	-307,185
------	---------	---------	--------	---------	----------

説明	予算額:9/1現在	増減②=決算額① - 決算額②
	決算額①:今回決算額	決算額②:前回決算額
	増減①=決算額① - 予算額	

上記 差引金額 514,075 円は特別会計に繰り入れました。

監査の結果上記の通りと認めます 関西ハーモニカ連盟
2014年1月26日 会計監査 山本健司



中国ハーモニカ連盟との交流旅行収支一覧

実施2013/10/19～10/20

関西ハーモニカ連盟

事業部長 梁木 進

(単位：円)

平成25年12月31日



収入の部			支出の部		
会費		1,428,000			
会費内訳			参加者に通知郵便		3,360
関西ハーモニカ連盟会員	1,054,000		最終案内 46×140		6,440
韓国Pusan+井上朋子	374,000		コピー代	450枚	4,500
小計	1,428,000		バス会社		294,630
			バス会社	振込料	262
積立金		0	損害保険		7,945
宇根山さんのヘルパー		9,300	乗務員・ガイド寸志		10,000
岡山夕食参加会費		35,000	乗務員・ガイド昼食		1,574
			ホテル代、宴会		808,375
			昼食(10/19)		80,325
			昼食(10/20)	駅弁	57,200
			クイズ賞金		17,600
			コンサート分担金		128,000
			記念アルバム		25,250
			記念アルバム	送料	10,400
			積み込みお菓子代		7,290
			余剰金(特別会計に繰り入れ)		9,149
合計		1,472,300	合計		1,472,300

領収書等精査の結果上記の通り相違ありません

2014年1月26日

関西ハーモニカ連盟
会計部長 笹山恵司



監査の結果上記の通りと認めます。

2014年1月26日

関西ハーモニカ連盟
会計監査 山本健司



590-0144

大阪府堺市南区赤坂台6-15-3-309
笹山様方

関西ハーモニカ連盟 様

このたびは、朝日新聞厚生文化事業団に温かいお志をお寄せ下さいまして、ありがとうございます。
お寄せいただいた寄金は、当事業団が実施する福祉事業に有効に使わせていただきます。
領収書の発行が遅くなり、まことに申し訳ありません。
今後とも一層のご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、みなさまのご健勝をお祈りいたします。

No 13210035(26)

領 収 書

関西ハーモニカ連盟 様

金額 **¥336,680**※



※但し、「社会福祉寄金」として領収いたしました。

(所得税法第78条第2項第3号該当、法人税法第37条第1項、第3項第2号及び第4項該当)

2013年6月4日

社会福祉法人

朝日新聞厚生文化事業団

理事長 池内 文



□東京 〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2

TEL03 (5540) 7446/Fax03 (5565) 1643

■大阪 〒530-8211 大阪市北区中之島2-3-18

TEL06 (6201) 8008/Fax06 (6231) 3004

□西部 〒802-8588 北九州市小倉北区室町1-1-1

TEL093 (563) 1284/Fax093 (563) 1287

□名古屋 〒450-8488 名古屋市中区栄1-3-3

TEL052 (221) 0307/Fax052 (221) 5453

年月

日

発行

場所

2013年(平成25年)6月8日

土曜日

13

東 工 科

上 宮 太 子

追 手 門 学 院



阪市
を

仲
間

太子町

我
た
か

茨木市

猛
打

ヤミ米で育てて

総理どの軍靴は
ずるいより不器
上乗せの分を差
口出すが汗はか
言い出しっぺい

590
は
を

朝日福祉寄金
06-6201-8008

朝日新聞厚生文化事業団へ
33万6680円 堺市・関西ハ
ーモニカ連盟

本社・工場見学

平成25年研修会収支報告


実施日	5月12日		7月14日		9月8日		11月10日		計
講師	松田 昌		山口 牧		小林由美子		鈴木楽器 竹森		
内容	表現力アップ		バンド奏法他				メンテナンス		
収入の部									
連盟会員	49,000	49名	93,000	93名	38,000	38名	53,000	53名	233,000
非会員	8,000	4名	4,000	2名			6,000	3名	18,000
									0
計	57,000		97,000		38,000		59,000		251,000
支出の部									
会場費	24,000		24,700		32,000		23,500		104,200
マイクなど									0
講師謝礼	50,000		50,000		30,000		50,000		180,000
" 懇親会費	5,000		5,500				5,000		15,500
" お茶代			110						110
" 交通費	2,000		2,000						4,000
資料コピー代	1,950		2,000		2,460		350		6,760
係 交通費	7,220		5,560		4,600		4,800		22,180
									0
									0
									0
									0
									0
計	90,170		89,870		69,060		83,650		332,750
差引金額	-33,170		7,130		-31,060		-24,650		-81,750
連盟より	50,000		50,000						100,000
現金残	16,830		73,960		42,900		18,250		18,250

平成25年12月31日

研修部会計 新山ミツ子 

上記不足金額 100,000 - 18,250 = 81,750 円 は特別会計から補填する事と致しました

平成26年1月26日 会計部長


笹山恵司 

監査の結果上記の通りと認めます。

関西ハーモニカ連盟

平成26年1月26日

会計監査

山本健司 

関西ハーモニカ連盟 特別会計元帳					
平成25年度12月31日現在				単位:円	
年度	振込	収入	支出	残高	備考
平成24年度	第9回コンテスト補填		70,066	3,006,113	
	合宿交流講習会残高繰り入れ	70,110		3,076,223	
	関西ハーモニカ祭り残高繰り入れ	821,260		3,897,483	
	平成24年度研修会補填		196,345	3,701,138	
	同上送金費用		420	3,700,718	
平成25年度	打ち上げ懇親会寄付金・チャリティー分(吹上氏)	20,000		3,720,718	
	打ち上げ懇親会援助金・チャリティー分		48,000	3,672,718	
	関西ハーモニカ祭り残高繰り入れ	514,075		4,186,793	
	交流バス旅行残高繰り入れ	9,149		4,195,942	
	平成24年度研修会補填		81,750	4,114,192	
	26年度コンテスト会場費手付		75,180	4,039,012	
	26年度ハモ祭り会場費手付		294,240	3,744,772	
	同上 送料		420	3,744,352	
上記の通り相違ありません。 平成26年1月26日			関西ハーモニカ連盟		
			会計部長		笹山恵司
監査の結果上記の通りと認めます。 平成26年1月26日			関西ハーモニカ連盟		
			会計監査		山本健司

資産内訳

平成25年度12月31日現在

単位:円

内 訳	金 額	内 容	金 額
一般会計預金	2,801,974	一般会計残高	3,740,970
一般会計手持ち現金	6,996		
一般会計26年度年会費等前受け金	932,000		
特別会計預金	3,744,352	特別会計残高	4,114,192
26年度コンテスト会場費手付	75,180		
26年度ハモ祭り会場費手付	294,660		
合 計	7,855,162	合 計	7,855,162

上記の通り相違ありません。 平成26年1月26日

関西ハーモニカ連盟
会計部長

笹山恵司

監査の結果上記の通りと認めます。 平成26年1月26日

関西ハーモニカ連盟
会計監査

山本健司

平成 25 年度年会費・入会金入金内訳 (単位 : 円)

		単価	
賛助会員	4社	10,000	40,000
個人会員	290名	5,000	1,450,000
準会員	2名	1,000	2,000
以上入会金	33名	1,000	33,000
団体会員	706名	1,000	706,000
団体会員入会金	56団体	1,000	56,000
合 計			2,287,000

監査の結果上記の通りと認めます。
2014年1月26日

関西ハーモニカ連盟
会計監査 山本健司



関西ハーモニカ連盟会報

第 200 号記念号 (2014 年 7 月号) を迎えるにあたって

編集局長 もり・けん

関西ハーモニカ連盟の会報が、次号でちょうど 200 号を迎えます。

歴代の役員の方からも寄稿頂き、200 号までの歩みを概観できる特集ページを設ける方向で考えています。古い資料、写真などありましたらご提供いただければ幸いです。

内容案

- ・ 200 号のあゆみ (文・写真・印刷物など)
- ・ 200 号を迎えて思うこと
- ・ お祝いの言葉 など

通常、7 月号の原稿締め切りは、5 月 17 日 (土) ですが、資料のご提供などいただけるようでしたら 4 月中に、編集局にお送りいただきたく存じます。

募集中!!

ハーモニカ
と
ワンショット

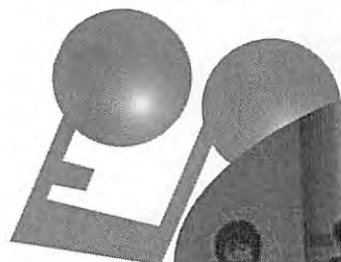
お子さん、お孫さん、ご家族の方々、親しい仲間、かわいいペット、大切にしているもの、風景等等...ハーモニカと一緒に写っている写真を広く会報読者から募集しています。採用分は会報の表紙または裏表紙に掲載いたします。ふるってご応募ください。プリントまたは写真データを郵便またはメール添付便で下記までお送りください。

関西ハーモニカ連盟会報編集室「ハーモニカとワンショット」係
〒530-0037 大阪市北区松ヶ枝町 6-12 西栄ビル 2F H・U・N企画内
e-mail: harmonica@cardandmedia.co.jp

当連盟 平成 26 年度 総会

2013 年 2 月 11 日 (火・祝) 北京料理 徐園

写真提供：吉村則次・梅田恒弘



仲村会長 あいさつ



吹上理事長 あいさつ



関西ハーマニカ連盟総会会場





懇親会での六甲おろし演奏



会長、理事長を囲んで顧問の先生方



総会出席者のみなさん

関西ハーモニカ連盟合宿研修会

主催： 関西ハーモニカ連盟事業部

- 日時 : 2014年9月27・28日(土・日)
場所 : 新大阪ユースホステル(ココプラザ)
住所 : 533-0033 大阪市東淀川区東中島1-13-13
電話 : 06-6370-5427
費用 : 12,000円(会員) 12,500円(非会員)
(宿泊、4食付き、コンサート出演料講習会3回含む)
日帰りの方は 講習料、コンサート出演料含めて1日3,000円
(但し食事は別)
募集人数 : 宿泊80名まで(4人部屋)、日帰りのご参加も大歓迎
募集開始 : 4月1日～8月30日まで(但し宿泊人員満杯なり次第締め切りとなります。
アクセス : 新大阪 JR 線東出口より徒歩5分
日帰りの人 : 日帰りの人も朝食、昼食、夕食実費で希望によりご用意出来ます。
集合 : 9月27日(土) 11時集合、 9月28日(日) 9時集合
講習会 : A講座、B講座、C講座の3講座それぞれ120分ずつ。
コンサート : 28日(日)の13時より、 2階のコンサートホールで行います。
参加希望者全員出演出来ます。

切 取 線

申込書・ 個人情報もれなく記入願います。	
氏名	男 女
住所	〒
電話番号	
宿泊希望	会員・会員12,000円 (非会員 12,500円)
日帰り	会員・会員 3,000円 (非会員 3,500円)
日帰り希望	希望日に ○を 27日(土)、 28日(日)
28日ハーモニカコンサートの申し込み用紙は後日送付します。	
申し込み用紙を切り取って下記へFAXでお申し込み下さい。 教室単位またはグループで参加申し込まれた人は同室に割り振りしますのでお申し出下さい。	
梁木 進 電話 072-284-8808、 FAX 072-286-4890、メール su.hariki@glayva.net	

講習会の講座選び及び宿泊割り振り等の詳細については1ヶ月前に連絡します。

2014年の研修会予定

研修部長 小林由美子

場 所: 愛日会館 大阪市中央区本町 4-7-11
電話 06-6264-4100

参加費: 会員 1000 円、非会員 2000 円

当日 受付にてお支払いください。



地下鉄本町駅下車 5分

人 数: 定員 70 名 (先着順 予約が必要です)

申込み先: 浅井瀧子

TEL・FAX 078-803-2523

定員を超えた場合は、参加お断りの連絡をすることがあります。

※上記項目は第1回・第2回・第3回・第4回共に共通

第1回

日 時: 5月25日(日) 14:00-16:30

講 師: 和谷 泰扶 (わたに やすお)

テーマ: 「聞いて得するハーモニカの基礎学習」

ハーモニカ呼吸法・様々な口の形・美しい音色への追及・複音とクロマチックの共通点

講師プロフィール

■ 1960年 京都市に生まれる。6才よりハーモニカを小林忠夫氏に師事。「京都ハーモニカカルテット」「同志社ハーモニカ・ソサイアティー」で活躍。

■ 1983年 F I H ジャパン・ハーモニカ・コンテスト (クロマチック部門) で1位を受賞。

■ 1984年 ドイツ・ホーナー・コンセルヴァトリウム (トロシゲン市立音楽院) の招待留学生としてヘルムート・ヘロルド氏に師事。

1988年 「国際ハーモニカ・コンクール (オランダ) で第1位及び特別賞を受賞。国内・外国各地でリサイタルを開催。

■ 1989年 「第2回ワールド・ハーモニカ・チャンピオンシップス (ドイツ)」で第1位を受賞。ドイツ、日本の各交響楽団と共演する。

■ 1991年 この年よりホーナー・コンセルヴァトリウムの主任講師となる。

■ 2002年 18年間のドイツ生活を終えて帰国。国内各地で演奏活動をする。

■ 2005年 洗足学園音楽大学・大学院 管楽器ハーモニカ科講師に就任。

お持ちいただくハーモニカ

C調のクロマチックハーモニカ (ユニカを除く)

第2回

日 時: 7月27日(日) 14:00-16:30

講 師: 小林由美子

第3回

日 時: 9月7日(日) 14:00-16:30

講 師: 十河 陽一

第4回

日 時: 11月9日(日) 14:00-16:30

講 師: 松田 幸一



第10回 西日本ハーモニカコンテスト

出演者 募集要項 【抜粋】

主催：関西ハーモニカ連盟

日時：平成26年8月23日(土)10:30開場(11:00開演)

会場：サンスクエア堺《400席》

大阪府堺市堺区田出井町2番1号 TEL 072-222-3561

部門及び参加費

I	ジュニア・ソロ部門(複音及びクロマチック)	4,000円
II	ジュニア・アンサンブル部門	8,000円
III	クロマチック・ソロ(クラシック)	8,000円(会員5,000円)
IV	クロマチック・ソロ(ジャズ・ポピュラー)	8,000円(会員5,000円)
V	複音トレモロ・ソロ	8,000円(会員5,000円)
VI	デュエット	14,000円(1人でも会員が居れば10,000円)
VII	小アンサンブル(3名以上6名以下)	20,000円(1人でも会員が居れば15,000円)
VIII	大アンサンブル(7名以上)	25,000円(1人でも会員が居れば20,000円)
IX	フリー・ソロ部門(上記に属さない1-モカの演奏)	8,000円(会員5,000円)

(例)・・・10H・複音とクロマ・バスソロ等の演奏

注意

- ★すべての部門にテープ、MD、CDによる予選が行われます。
- ★全部門にマイクの使用が出来ます。バス、コードにもDIboxを用意します。
- ★VIIの小アンサンブルとVIII大アンサンブルの編成はハーモニカ以外の楽器やパーカッションを入れる事が出来ます。但し、ハーモニカの割合は8割以上であること。

演奏時間

★すべての部門8分以内(時間オーバーの場合は減点対象となります)

審査員

甲賀一宏(指揮者)・小林由美子(当連盟研修部長)・斎藤寿孝(プロ)・十河陽一(作曲家)
徳永延生(プロ)・和谷泰扶(プロ)

応募期間

平成26年4月1日～4月30日厳守

※該当する参加料金の振込みをもって確認、受理します。

参加資格

- 西日本(滋賀県・京都府・奈良県・和歌山県以西)に在住する方
- 過去に本大会で優勝した方は、同じ部門には出場出来ません

申し込み内容

①参加部門			③参加料金	円
②演奏者氏名(7ヶ所以内)			④人数	名
住所			電話	
曲名	作曲者			
備考欄	編曲者			

【お問合せ及び申込み先】 事業部長 梁木 進 TEL 072-284-8808 FAX 072-286-4890



☆☆ ハーモニカ カレンダー ☆☆

2014年2月15日現在 関西ハーモニカ連盟 編集局



月日	曜日	演奏者・演奏会の名称・他(敬称は略)	会場・お問合せ先
3月21日	金	クロマチック吹きまくり会	クレオ大阪東
3月26日	水	クロマチック吹きまくり会	クレオ大阪東
4月6日	日	お花見吹きまくり会 吉村教室有志主催 参加料無料	場所 堺市大仙公園 堺市博物館裏 ※記事参照
4月13日	日	第15回ハモニ館まつり	ココプラザ 問 ハモニ館
4月13日	日	生駒ハーモニカ同好会 10周年記念コンサート	四条畷市アイ・アイ・ランド 問 実行委員会事務局 岩本 090-6204-4936
4月13日	日	寺村安雄と JIAN SAKAI サウスミュージックカーニバル	堺市泉北高速・泉ヶ丘駅前広場 主催:堺市南区役所 企画総務課 TEL:072-290-1814
4月14日	月	関西ハーモニカ連盟常任理事会 18:00~20:00	ふんふんさろん
4月18日	金	クロマチック吹きまくり会	クレオ大阪東
4月19日	土	日本ハーモニカ芸術協会 総会 13:00~	東京新橋 ヤクルトホール
4月20日	日	ハーモニカ連盟国際交流 ハーモニカ・フォーラム2014 13:00~ 梁木進パネラーとして出席	東京 ホテル・ラングウッド 全日本ハーモニカ連盟
4月20日	日	もり・けん&萩原謠子(P) 童謡コンサート 14:00~大人2,000円,小中高1,000円,乳幼児無料	ふんふんさろん
4月29日	火	バラエティコンサート 出演:寺村安雄 主催 日本音楽家ユニオン 2,500円	アサヒスーパードライ 大阪市北区梅田新道四ツ辻
4月30日	水	西日本ハーモニカコンテスト 申し込み締め切り	コミュニティ嵯峨野 主催:まごころの集い社 問い合わせ先:0743-79-3887
5月10日	土	まごころの集い社創立65周年記念総会 ゲスト出演(寺村安雄)主催:まごころの集い社	コミュニティ嵯峨野 問 0743-79-3887
5月11日	日	吉村教室有志 堺市スプリングフェスティバル	堺市ソフィア堺
5月16日	金	もり・けん講演&コンサート「童謡の大切さ」	東大阪市長瀬 (子育て支援センター)
5月18日	日	もみじ〜ず&もり・けんハーモニカ合奏コンサート 14:00~ 1,000円	ふんふんさろん
5月19日	月	関西ハーモニカ連盟常任理事会 18:00~20:00	ふんふんさろん

5月24日	土	昭和レトロコンサート もり・けん&田中準子 (P) 食事付き 3,500円	中央電気倶楽部 問 心スタジオ
5月24日	土	くらわんかカルテット第7回Hコンサート 13:30～ 無料	メセナ枚方会館 問 山本 072-850-0319
5月25日	日	連盟 第1回 研修会 講師：和谷 泰扶	愛日会館 問 浅井 瀧子
5月31日	土	もり・けんハーモニカ教室合同発表会 13:00～17:00	なるお会館
6月1日	日	もり・けん&萩原謠子 (P) 童謡コンサート 14:00～大人2,000円,小中高1,000円,乳幼児無料	ふんふんさろん
6月10日	火	アジア太平洋ハーモニカ大会 (中国杭州市) の 申し込み締め切り	
6月12～ 20日	木～ 金	もり・けん地球の仲間 アラスカツアー	問 (株)風の旅行社
6月15日	日	FIH コンテスト 決勝大会	東京 全電通ホール
6月23日	月	関西ハーモニカ連盟常任理事会 18:00～20:00	ふんふんさろん
6月29日	日	日本ハーモニカ芸術協会関西支部連合会コンサート	和歌山県橋本市民会館
6月29日	日	童謡伝道師の集い 12:00～ 食事付き 7,000円	太閤園 ダイヤモンドホール 問 ふんふんさろん
6月29日	日	徳永教室発表会	阪急武庫之荘 ライブスポット・アロー
7月12～ 13日	土～ 日	高野山童謡大学 現地集合 13:00～ 大人 18,000円 (1泊2食付き)	無量光院 問 ふんふんさろん
7月18～ 25日	金～ 金	もり・けん地球の仲間 モンゴルツアー (1)	問 (株)風の旅行社
7月27日	日	連盟 第2回 研修会 講師：小林由美子	愛日会館 問 浅井 瀧子
8月2～ 5日	土～ 火	アジア太平洋ハーモニカ大会	中国 杭州市
8月9日	土	昭和レトロコンサート もり・けん&田中準子 (P) 食事付き 3,500円	中央電気倶楽部 問 心スタジオ
8月10日	日	もり・けん&萩原謠子 (P) 童謡コンサート 14:00～大人2,000円,小中高1,000円,乳幼児無料	ふんふんさろん
8月18日	月	関西ハーモニカ連盟常任理事会 18:00～20:00	ふんふんさろん
8月19～ 26日	火～ 火	もり・けん地球の仲間 モンゴルツアー (2)	問 (株)風の旅行社
8月23日	土	西日本ハーモニカコンテスト	サンスクエア堺 問 関西ハーモニカ連盟事業部
9月7日	日	連盟 第3回 研修会 講師：十河 陽一	愛日会館 問 浅井 瀧子

9月22日	月	関西ハーモニカ連盟常任理事会 18:00～20:00	ふんふんさろん
9月27・ 28日	土・ 日	関西ハーモニカ連盟合宿研修会	ココプラザ 問 関西ハーモニカ連盟事業部
10月12・ 13日	日・ 月(祝)	関西ハーモニカ連盟 関西ハーモニカ祭り	奈良百年記念会館 問 関西ハーモニカ連盟事業部
10月19日	日	吉村教室発表会	堺市北野田 フェスティバル・フラットホール
10月19日	日	もり・けん&萩原謠子(P) 童謡コンサート 14:00～大人2,000円,小中高1,000円,乳幼児無料	ふんふんさろん
10月27日	月	関西ハーモニカ連盟常任理事会 18:00～20:00	ふんふんさろん
11月9日	日	連盟 第4回 研修会 講師:松田 幸一	愛日会館 問 浅井 瀧子
11月9日	日	堺自由の泉大クロマチックコース 堺市芸能百華	堺市 中文化会館(ソフィア堺)
11月10日	月	関西ハーモニカ連盟常任理事会 18:00～20:00	ふんふんさろん
11月22日	土	昭和レトロコンサート もり・けん&田中準子(P) 食事付き 3,500円	中央電気倶楽部 問 心スタジオ
11月29日	土	南 里沙 コンサート	堺市 サンスクエア堺
12月8日	月	関西ハーモニカ連盟常任理事会 18:00～20:00	ふんふんさろん
12月17日	日	もり・けん&萩原謠子(P) 童謡コンサート 14:00～大人2,000円,小中高1,000円,乳幼児無料	ふんふんさろん
12月25日	木	注連縄掛神事(お笑い神事) もり・けんハーモニカ演奏 参道広場	東大阪・枚岡神社 072-981-9177
1月19日	月	関西ハーモニカ連盟常任理事会 18:00～20:00	ふんふんさろん
2月2日	月	関西ハーモニカ連盟常任理事会 18:00～20:00	ふんふんさろん

スペースの関係でハーモニカをHと表示している場合があります。

入場料を記載してあるもの以外は、原則入場無料ですがそうでないものもありますので、主催者に確認ください。連盟研修会は、会員1,000円、会員外2,000円です。

● 問い合わせ先: 当連盟の各部局長の連絡先は、表紙裏ページをご覧ください。

全日本ハーモニカ連盟 事務局……………048-446-6126 FAX048-445-6161
 徳永延生(特別顧問、クロマチック奏者) ……06-6934-7266
 H・U・N企画……………06-6352-8005 FAX 06-6353-1393
 ふんふんさろん…………… 06-6352-8005 FAX 06-6353-1393
 ハモニ館 吹上……………0798-22-1844 (FAX共)
 心スタジオ 赤池……………080-3793-7353 FAX 0727-41-5472
 (株)風の旅行社・高嶋……………0120-987-553 FAX03-3228-5174
 寺村安雄……………072-297-5737 (FAX共)

2014年1月

日本ハーモニカ芸術協会関西支部連合会
楽典基礎勉強会のご案内

村上博昭

- 趣旨** ハーモニカをもっと上手く吹きたい人。
ハーモニカをやっている 音楽の知識も少し知っておきたい人。
ハーモニカ指導者を目指しているが 楽典認定口座は難解で受ける前に
音楽基礎知識を少し知っておきたい人などの方々に気楽に学べる勉強会です。
ほんの基礎的なことを知っているか否かで、音楽を理解したり、演奏するうえで、
かなりの違いがでできます。
- 内容** 今後の人生をより楽しく暮らしたいと思っておられる方 軽い気持ちでどうぞ！
楽典認定講座で使用している「音楽通論」をゆっくり 余裕を持って勉強します。
(楽典認定講座は 短時間の研修のため ある程度の知識を持っていない人
には厳しい。理解不十分のまま受験となるため合格率が低い状態にある。
当勉強会で勉強することにより 全員合格を目指す。公認指導員増加を図る。)
- 日程** 第1回 2014年5月25日(日) 9時30分～11時40分
新大阪 ココプラザ 505号室
教本第1部 楽譜の仕組み
第1章 音の長さ、音の高さ、記号(1～5)
- 第2回 2014年6月22日(日) 9時30分～11時40分
教本第1部 楽譜の仕組み
記号(6～8)
第2部 音楽の仕組み
音程
- 第3回 2014年7月27日(日) 9時30分～11時40分
第2部 音楽の仕組み
音階
- 第4回 2014年8月31日(日) 9時30分～11時40分
第2部 音楽の仕組み
和音
- 場所** 新大阪 ココプラザ(予定)
第1回は確定 第2回以降は予定です。(決定次第 ホームページ掲載)
- 講師** 村上他
- 受講料** 芸術協会会員 1,000円
非会員 2,000円
- 使用する教本**
改定 音楽通論 980円(消費税込み)
(株)教育芸術社
事前に各人で書店に注文し購入してください。
- 申込** 村上宛 FAX 0743-79-9559
メール murakami8hk40306@vbb.ne.jp

楽典基礎勉強会 受講申込書

氏名
郵便番号
住所
電話番号 FAX番号
芸術協会会員番号
芸術協会未加入(未加入者は ○印)
連絡事項

デュオ・ユットラ&アンサンブルハモニ館による ハーモニカ・リサイタルを聴いて

源馬 英人

2013年9月29日、秋晴れの日曜日に、デュオ・ユットラとアンサンブルハモニ館のハーモニカ・リサイタルが開催された。関西在住のハーモニカ愛好者で、小林由美子氏と吹上晴彦氏によるデュオ・ユットラの名声を知らぬ者はいないだろうが、今回、そのデュオ・ユットラと、両氏が育てたアンサンブルハモニ館による、初の正式なリサイタルが実現した。



会場となった神戸市東灘区の「うはらホール」には、開場時刻前から大勢の音楽ファン、ハーモニカ・ファンが集まった。来聴者の中には本連盟の仲村眞会長はじめ、関西ハーモニカ界の重鎮も数多くおられた。ロビーの混雑回避のため開場時刻が早められ、筆者が到着した時には既に、ホールはほぼ満席であった。それでも何とか最前列に空席を見つけ、「かぶりつき」でコンサートを満喫できたのは幸運だったと言うほ

かない。

リサイタルは和谷奈津氏のウィットあふれる司会で進行し、ユットラのデュオに加えて、両氏各々のソロや、ハモニ館のアンサンブルがバランスよく織り交ぜられて演奏された。楽曲の内容もまた、日本の愛唱歌、ハーモニカ定番の大曲、欧米の有名曲などが巧みに配され、聴く者を飽きさせない構成になっていた。何本もの複音ハーモニカを駆使した吹上氏の「チャルダッシュ」や、見事なカスタネットさばきも披露した小林氏の「懐かしのボレロ（「昭和歌謡メドレー」より）をはじめ、どの曲も素晴らしい完成度であった。富田美香氏の清澄なピアノ伴奏が、ハーモニカの音色をいっそう引き立たせていた。アンサンブルハモニ館の演奏も、16人という大編成にもかかわらずよくまとまり、調和のとれたハーモニーを聴かせてくれた。最後の曲目「花は咲く」では、演奏に続き、メンバー全員が一輪の花を手に持って熱唱し、会場の聴衆もそれに和した。こうして、3時間以上にわたったリサイタルは、感動のうちに幕を閉じた。ハーモニカが持つ音楽表現力の豊かさと、ストレートに日本人の心に訴えるその情緒性について、改めて実感させられたひと時であった。



デュオ・ユットラ&アンサンブルハモニウム館 リサイタルお礼

吹上 晴彦

去る2013年(平成25年)9月29日、神戸市・東灘区民ホール「うはらホール」にて開催いたしました。

初リサイタル「デュオ・ユットラ&アンサンブルハモニウム館 Harmonica Recital」に際しましては多くの皆様にご来場いただきまして、ありがたく厚くお礼申し上げます。

おかげさまで、盛会のうちに終えることができ、メンバー一同、心より感謝いたしております。

まだまだ未熟な演奏ではありますが、努力を重ね、もう一度みなさまに聴いていただけるリサイタルが開催できればと思います。

また当日の収益金全額を公益法人 神戸新聞社厚生事業団に東日本大震災義援金として寄付致しました。

重ねて皆様のご厚意にお礼申し上げます。



源馬 英人

小林由美子先生と吹上晴彦先生のご指導を仰ぐ、7つのハーモニカ教室の恒例行事、「ハモニウム館合同望年会コンサート」が2013年12月8日に開催されました。会場は本連盟にお馴染みの北京料理店、「徐園」です。第6回となる今回の参加者は70名を超え、前回以上の大盛會となりました。参加者は会場に入ると先ず最初にくじを引き、これで演奏の順番が決まります。つまり、コンサート開始時には全員がそろい、初心者もベテランも平等にくじの順で演奏し、仲間の演奏もちゃんと聴くという、フェアプレーの原則が守られているのです。これによって、普段は教室が異なるために顔を合わせることのない生徒同士の間にも、しっかりした一体感が生まれます。

望年会コンサートは吹上先生の熱いご挨拶で幕を開け、浅井瀧子さん(コープこうべ)の司会で楽しく進行しました。参加者は皆、演奏が終わると小林先生から直筆のメッセージをいただきます。そこには、技術的なアドバイスや励ましなどが丁寧に記されていました。生徒1人1人に対する小林先生の細やかなお気遣いと、ハーモニカへの情熱があふれています。実は、

小林先生はこの「ラブレター」執筆のために前の晩、ほとんど寝られなかったそうで、手伝われた吹上先生もそれに巻き込まれた、とのことでした。会場に温かい笑いの輪が広がりました。長丁場のコンサートは、途中2度の休憩を挟みながらテンポよく進み、ハモニウム館アンサンブルの演奏で幕を閉じました。

コンサートに引き続き、全員で写真撮影、そしていよいよ望年会です。先ずは生徒代表として谷正雄さん(コープこうべ)が、乾杯の音頭を取りました。谷さんは第1回の望年会を回想しながら各教室の発展を祝い、一同が乾杯しました。それに続いて宴が始まり、5時間に及ぶコンサートで空腹を抱えた皆のテーブルに、ご馳走が続々と運ばれてきました。テーブルにはいろいろな教室で学ぶ生徒たちが混ざり合って座り、多くの話題に花が咲きました。宴たけなわとなったところでジャンケンゲームと福引きが始まり、会はいっそう盛り上がりました。クライマックスは、吹上先生の「人を恋ふる歌」、小林先生の「風雪流れ旅」という特別演奏であり、参加者一同、ハーモニカの音色の深さと美しさに改めて襟を正したのでした。また、くじで「と

り」を引いた武田潤子さん（ハモニ館）がピアノを弾きながら「ベサメムーチョ」を歌い、花を添えました。その後も愉快地に宴が続き、両先生のデュオ・ユットラによる「我が人生に悔いなし」が演奏され、第6回の合同望年会コンサートは感動のうちにお開きとなりました。

実は、報告者は吹上先生のご指導をいただくようになってからまだ日が浅く、ハモニ館合同望年会コンサートに参加したのは今回が初めてです。その新参者の目にとりわけ印象的だった

のは、コンサートの最初から宴の最後まで、お二人の先生が生徒たちを励まし、会を盛り上げるために、ほとんど休む間もなく最前線に立って奮闘された、その甲斐甲斐しいお姿です。分野は異なるものの同じように教鞭を執る身として、両先生のご努力から多くのことを学ばせていただきました。年末のこの行事を「忘年会」ではなく「望年会」と名づけたことの、鮮やかな証をそこに見た気がしました。



豪華な南里沙さんの「2014 はじまりの響き」コンサート

吉村 則次

前号 198 号 p36 で、本人から案内された表題のコンサートは、予定通り年明け早々の 2014 年 1 月 12 日（日）、JR 神戸駅近くのハーバーランド内、ショッピング・センター UMIE 及び同モザイクの近くにある、神戸新聞松方ホールで「ほぼ」満杯の聴衆を集めて開催された。入場料当日券 3500 円。キャパシティは 700 ぐらいだが、本人のホームページでは 400 あまりが入ったとのこと。

当連盟の会報に掲載されたこともあり、当連盟の会員もかなり来られていたように見受けられた。

渡辺具義さん（ともよし、ギター）、藤谷一郎さん（ふじや、ベース）という一流ミュージシャンをバックに、テレビ情熱大陸のテーマ「情熱大陸」、映画スバルタカスからのテーマ、モーツァルトの「魔笛」からの「夜の女王の Aria」、日本の曲のメドレー、イタリア映画「道」の主題歌「ジェルソミーナ」、溝口肇作曲の「マリー橋を降りて」、ピアソラの Cafe1930、チック・コリアの「スペイン」、映画音楽の「ひまわり」、モンティの「チャルダッシュ」、東日本大震災復興応援ソング「花は咲く」、本人の

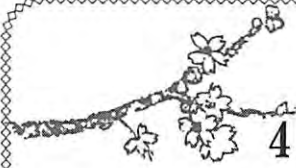
ために作曲された「Mint Tea」を演奏され、さらにアンコールとして 3 曲も演奏された。

終了後、本人のキング・レコードからリリースされた CD「Mint Tea」の購入と、本人のサインを求めて長い列ができており、1 時間を費やしたとのこと。

このコンサートは、主催者（プロダクション）がいて取り仕切ってくれたものではなく、会場の手配、PA の手配、演奏のプラン、プログラムのデザインと作成手配、チケットの販売等ほとんど本人がやられたようで、若いとはいえ、そのパワーには感心させられた。もちろん家族や伴奏者、作曲者、業者、応援者、来場者等、関係者の大きな協力はあつたはずで、それなしには不可能なことではある。

いうまでもなく、演奏も大したもの、このようなことができる方が当連盟の会員であることは、非常にうれしく、また誇りに思う。（写真は禁止されていたのでありません。）

お土産に、来場者全員に、花が印刷されたバルーンが配られました。こんなの初めて。



お花見吹きまくり会

4月6日、日曜日堺市大仙公園で

吉村 則次

吉村クロマチック教室の有志主催のお花見吹きまくり会は、4月6日(日)に、堺市の大仙公園で開催いたします。誰でも参加できます。参加事前申し込み不要。参加費無料。桜も満開の頃と思います。各自食料・飲み物等を持って、ふるってお出てください。

日時 2014年4月6日(日) 午前11時～午後4時

場所 堺市の仁徳陵の南、堺市大仙公園(だいせんこうえん)内の堺市博物館の裏手
近くに桜も咲いています。下記の地図に◎で示す場所。

JR 阪和線百舌鳥駅が最寄り。駅前にコンビニが2軒あります。

バスなら、南海バス堺市博物館前

※堺市には紛らわしい名前の大泉(おおいずみ)緑地がありますが、これではありません。

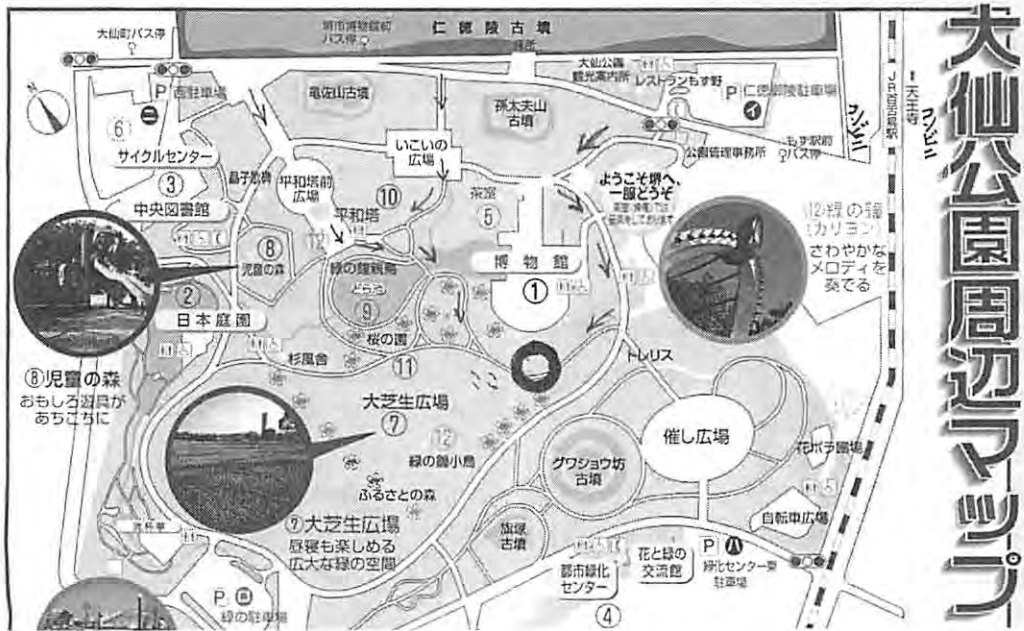
設備 スピーカー1個(リバーブ付)、マイクロホン1個、譜面立て1個
CDプレーヤー、MDプレーヤー。その他の機器も接続できます。

参加費 無料 事前申し込み不要 当日気楽にお出てください。

各自持って来ていただきたいもの 敷物、あれば簡易折り畳みイス、食べ物、飲み物、
ハーモニカ、楽譜、楽譜をとめるクリップとクリアホルダー(屋外ですから必ず風があります)等。
合奏される方は譜面立て。

雨天の場合は中止します。昨年2013年4月に大阪城公園で開催を予定していたものは、悪天候のため中止となり、残念でした。ですから、今年は……。

問い合わせ 電話 & Fax 072-251-9398 吉村



MD とカセットテープレコーダー あったらすぐ買っておこう

吉村 則次



大いに
利用させ
ていただ
いた MD
機器が、
ご存じの
とおり、
非常に短
期間に、
あれよあ
れよと、
世界から
消えてし

まった。この会報で、私が「MD は便利」と紹介させていただいたのが、わずか 18 年前の 1995 年 9 月の 124 号であった。このとき disk が 60 分もの 1 個 1000 円だったと記述あり、今の 10 倍以上だったことがわかる。

古い MD が買えた!

自分の録音、CD のコピー、(教室の)教材の作成等のために、MD は、ありがたい存在であった。

分離(区切り付け)、部分消去、連結、入れ替え(順序替え)等が、MD ではやさしくできて、本当に重宝させていただいた。これが消滅(メーカーによる製造終了、修理も終了)してしまったのも、理由はあるだろう。売れなくなったから、及び、故障しやすいから、等の理由であろう。(普通の人にとっては、音楽を聴くのには、パソコンや i-Pod、携帯電話等で充分)、

私としては、過去に積み上げた MD Disk は、数百枚ではきかない。教室の教材、演奏の録音、自分の録音等が多くあり、メーカーが製造しなくなったからと言って、ああそうですか、と引

き下されるものではない。そういう方も、皆さんの中には多いと思う。これから、今持っているのも、やがて壊れるから、どうしようと心配されている。前に録ったものや、教材として MD に録音されて、もらった、または買った、演奏見本及び伴奏等が、もう聞けなくなったと、困っておられる方も多い。

今の問題解決の一つは、市中から古い MD プレーヤーを見つけて買うということである。

私は、最近、古物を売る店で、SONY の MD デッキを購入することができた。10,500 円。

もう一つの解決方法は、もう手遅れかも知れないが、小売店で MD がプレーできる機器(在庫処分)を見つけたら、すぐ買うことである。私の近くの JOSHIN OUTLET 店には、携帯ではないコンポーネントではあるが 1 機種ぐらい残っている。

これもできないとなると、今持っている MD disk を CD に移し替えしてもらうことである。先生や、知り合いで、CD を作るセットを持っておられる方がおられれば、幸いである。または、MD の中身をパソコンに入れて、CD に移すことができる方が、おられれば、幸いである。しかし、これは時間と手間がかかることなので、あまり多くを依頼するわけにはいかない。業者に依頼するとかなりの費用を求められる。

私の解決策としては、教材(演奏見本と伴奏)は、今後は CD にして渡す、録音は PCM-LINEAR レコーダーにする(SD カードに録音できる)しかない。

CD は、MD と異なり、今後も生き続けるような気がする。

私は、5 年前の 2009 年ごろ、小売店を回っていて、MD がなくなってくるかもしれないと感じた時に、店頭に残っていた SONY の携帯用のものを 2 台買っておいた。いずれも、まだ使っ

ていないから新品である。だから、とりあえず、私としては救われている。

けど現在使用中の数台も、壊れて来ることは間違いない。

カセットテープも危ない

もう一つはカセットテープである。これは、MDと異なり、まだ生きている。細々と需要があるからであろう。MDが出る前は、私もカセットテープでとっていたから、その資産が相当ある。カセットテーププレーヤーは、メモリーやハードディスクやSDカード、USB等を使用する最近の電子機器とは異なり、アナログであり、モーターが入っており、その力を伝達するために、ゴムの輪やプリーが入っている。ゴムは、天然であれ、合成樹脂であれ、時間の経過とともに、硬化・劣化してくるので、テープが動かなくなる。輪ゴムが切れる、消しゴムが固くなる、等似たようなことを経験されていると思う。力の伝達方法にもよるが、早送りだけできない、早戻しができない、プレーができない、まったく動かない、等の症状が出る。

私の場合も、私の人生の三分の一、25年使ってきた、A-Dのデッキがとうとう壊れた。(A-Dを懐かしく思うられる方は、ツウである。赤井電機であり、当時の赤井電機とダイヤトーン=三菱電機のコラボとして評価が高かったと記憶している)

MDと同じく、古物売りの店で、DENONのものを4200円で買うことができた。製造年は分からないが、古いもので、取扱説明書もリモコンも付いてこないものであるが、満足している。

今でしょ、が重要だ。今お持ちのMD機器、カセットテープ機器も、いずれは壊れる。先を見て、見つかったら買っておこう。



(ちなみに、本文中、古物売りの店というのは、Hard-Offという店です。Book-Offという古本屋と関連しているようだ。)



ドレミちゃん
©2014年1月3日発行

神戸新聞

3 総合 2014年(平成26年)1月3日 金曜日

「ひょうご」総合

「音感が4オクターブ以上、管楽器や弦楽器のよきな音も出せるから、いろんなジャンルを演奏できる。本誌に魅力的な演奏なんです」
「音楽」との出会いが小学1年だった阪神・淡路大震災の年。慰問のオーケストラ演奏に感動して中学でオボーエを始め、神戸女学院大音楽学部へ。3回生のとき、リード楽器の音色を研究中に、超絶技巧と独特の音つくりで知られるクロマチックハーモニカの第一人者徳永延生氏の演奏に触れた。ハーモニカのイメージを超えた表現に魅了さ

メジャーデビューした クロマチックハーモニカ奏者

みなみ りささん
南 里沙さん



れ、すぐに氏の門をたいた。1ヶストラとハーモニカ協奏曲で、持前の豊かな音楽性で、国内外の大会で優勝。アルバムにはジャズ、クラシックから、タンゴ、ロックまで収録。「私もハーモニカも知ってもらえ名刺代わりの1枚。また奏者は少ないけれど、聴衆の心に届けたい」
趣味は風俗写真撮影。宝塚市在住、26歳。(冒険雅人)

「行ってみたいと思います」
楽器の普及にも夢を描く。アジア各埠ではハーモニカの演奏人口が多いのに学校教育の場から姿を消した日本では遠い存在になった。「おもちゃやみたくな印象があるのかな。でも演奏すると聴く人の表情が変わっていくのが面白い。若い世代に知ってほしい」
12日神戸新聞松方ホールでコンサートを開く。「震災から5年たった街で、あの日に私が知った音楽の魅力を、

■本社社会部

TEL 078-136217040
FAX 078-136015501
E-mail shakubu@kobe-np.co.jp

2014年1月3日神戸新聞掲載 村上浩一提供

老人ホーム慰問 10年続いています

吉岡 欣子



私たちボランティアグループ(がらくた〜ず)は、よみうり堺文化センター(もり・けん先生の生徒)+OB、OGで活動しています。

毎月定期的に5か所の老人ホームでハーモニカ演奏を行います。ただ演奏を聴いていただくのではなく、出来るだけ声を出して歌ってもらうのが目的です。そのため大きな用紙に歌詞を書き、それをボードに貼って歌います。今では、400曲以上になりました。

オープニングは季節に合わせた童謡を3曲、ソロに入って前半は童謡、後半は歌謡曲ですが、年輩の方がご存じの古い曲がほとんどです。

最後に故郷を演奏しますが、それまでうなだれていたお年寄りも気難しそうなおじいさんもこの曲が始まると歌い始めたり、口びるを動かしたりされます。中には涙ぐむ方も居られて、いつもの事ながらこの曲のもつ大きな力を感じずにはいられません。

こうしてお年寄りに元気になってもらい、私たちも元気をもらって、もう10年続けています。

関西にも優しい あつぎハーモニカ・コンサート

吉村 則次

神奈川県にある、ハーモニカの町、厚木市で、毎年1月に「あつぎハーモニカ・コンサート」という有料のものが開催される。主催は、全国組織や都道府県組織でもない、あつぎハーモニカ協会。毎年開催されるが、毎回、新しい最高級の奏者を集めて来られる。そして、毎回1400席を埋められている。

嬉しいのは、毎回関西在住の奏者を呼んでくれていることである。2012年は宝塚市の、今や輝いている南里沙さん(当連盟会員)、昨年2013年は当連盟特別顧問の徳永延生氏、そして、今年は奈良県生駒市の若い高校2年生の竹内海人さん(FIHコンテスト、グランプリ)と、徳永延生さんの生徒の山下伶さん(埼玉県春日部市)であった。

若い女性三人組の、多彩なミネストローネというトリオも演奏されたが、このうちの一人、伊藤加奈さんは、大阪府東大阪市のご出身の方で、ハーモニカ・マガジンの編集、結婚式等の司会進行、等もされている。結婚されて東京都にお住まいだが、実家にたびたび帰られている様子。関西出身の独特のや

さしさ、明るさがあり、親しみを感じる方である。メンバーの一人高橋早都子(さとこ)さんは、古い方はご存じと思うが、1995年横浜で開催された世界大会の複音のチャンピオンである。

ここ数年私は、聞きに行っているが、私にとって、素晴らしい演奏を聞くとともに、ハーモニカの知合いに会うのが、それ以上の楽しみになっている。岩崎重昭さん、大矢博文さん(当連盟会員)、真野泰治さん(全日本ハーモニカ連盟会長)、古川龍雄さん(NHC事務局長)等にお会いできた。

しかし、である。楽しみの中に、心配種もいただく。悲しいニュースもいただく。

常連と言われる著名な方が、お亡くなりになったり、ご病気でご欠席になったり、お会いできなくなって行く。お会いできた方のなかにも、健康を害されている方もおられる。

しかし、あつぎには、素晴らしい、優しい、ハーモニカの世界があった。

(撮影禁止のため、写真はありません。)

楽しい「もみじ〜ず」の活動

松浦 千恵



お話してくださるんですよと支援員の方に言われたことがあります。認知症の方も童謡や若かりし頃流行った歌はよくご存じで楽しそうに歌ってられます。改めて、音楽の力はすごいなあー！と実感し

私たちは、新響楽器ヤマハ箕面センターで、もり・けん先生にご指導していただいている生徒のグループです。箕面は紅葉の名所ということもあり、個性豊かな仲間を色彩りどりのもみじに例えて、複数形の「もみじ〜ず」と名付けて活動しています。お互いの長所を尊重しつつ、言いたいことが言える楽しい仲間です。当初は教室のあと、一緒に食事をしたり、おしゃべりをしたりするだけでした。縁あって12年程前に老人ホームで演奏し歌っていただいたら、とても喜ばれ、私たちも勉強になり嬉しく思いました。それをきっかけに、金曜日はハーモニカの日と決めて、できるだけ予定は入れないようにして、毎週練習するようになりました。現在は、月1回定期的に訪問する老人デイサービスセンターが2か所と他に地域の夏祭りや福祉会のひな祭り等季節の行事にも声がかかるとできるだけ出かけています。

ある特別養護老人ホームでは、利用者さんがCのハーモニカを持っておられたので、一緒に演奏しました。曲名は覚えておられないのですが、演奏を始めるとほとんどの曲を一緒に演奏されるので、感動したものです。

また、他の施設でも普段はほとんどお話をしないのに、ハーモニカの日だけは

2年前には、10年間のボランティア活動に感謝状をいただき、励みになりました。メンバーは、入れ替りもありますが、新人も無理矢理(?)誘って参加してもらって、吹けない曲は歌ってもらうようにしています。ボランティアをさせていただくことにより、喜ばれ、練習にも身が入り、多少なりとも上達し、おまけに舞台度胸までつくし、まさに一石二鳥どころか三鳥も四鳥もいいことがあります。

昨年は『第24回関西ハーモニカ祭り』が豊中で開催されるとのことで、“井の中の蛙”が大海を見に泳ぎ出そう！とちょっと大袈裟ですが、清水の舞台から飛び降りるくらいの覚悟で参加し、初めての大舞台に挑戦しました。細かい失敗はありましたが、あわてることなく、失敗を引きずらず、それなりにまとまりのある演奏ができたかな!? 評価はともかく今の私たちの力は出せたかなと思っています。ボランティアとハーモニカを楽しみながら、練習に励み、今年も参加できるよう精進します。



ますます盛んな徳永教室発表会 リハなしの生伴奏にどきどき

吉村 則次

徳永ハーモニカ教室の生徒、出身者、徳永教室の生徒が講師を務める教室の生徒(孫生徒)、を中心とする発表会は、年2回、尼崎市の阪急武庫之荘駅近くのライブスポット・アローで開催されています。

毎回45名前後が参加され、午前10時から午後4時ごろまで、生のトリオ(ピアノ、ベース、ドラムス)の伴奏で、主にジャズを演奏されます。大部分はソロですが、デュオやトリオも含まれます。出演者の中には、当連盟の会員も数名含まれます。

生のバンドが伴奏されますが、だからと言って、リハーサルもなく、ぶっつけ本番です。

いつも家で練習しているカラオケの伴奏とは、内容もテンポも異なるのが普通であり、やりにくい場合もありますが、生バンドの方がやりやすいという方も、ままおられます。



FIH ジャパン・コンテストで優勝した、プロといわれるような方も演奏されますので、なかなか内容が濃いものです。入場料無料ですが、東日本大震災義援金として1,000円が徴収されます。

2013年冬期のものは、2013年12月15日(日)に開催されました。写真は、トライアングル2013(左から戸田万紀、山下侖、松岡直樹)によるトリオ演奏です。

和谷泰扶さんの演奏が69分に亘り YouTube に

吉村 則次

当連盟特別顧問の和谷泰扶さんの、東京の洗足学園での演奏が、次のYouTubeで見ることができます。演奏は凄いものです。曲目は、ラブソディインブルー、カルメン幻想曲、トレド、ピアソラのオブリビオン、アディオス・ノニーニョ、ショパンの子犬のワルツ等。インターネットをやっておられるかた、どうぞ。<https://www.youtube.com/watch?v=ATKYiMVjGLE>

ひょっとすると、この会報が発行されるころには消されているかも。



特別顧問 和谷泰扶氏 足洗学園音楽大学コンサート YouTubeより

心にともる 息づくメロディー

手作りした和ろうそくをともし、愛用のハーモニカを構える和谷篤樹さん。京都市下京区、滝沢美穂子撮影



和ろうそくの職人 ハーモニカの名手

200年以上続く京都の和ろうそくの老舗「わた悟」の10代目主人。ろうそく職人だが、それだけではない。ハーモニカ演奏の名手でもあるのだ。
1993年、ドイツで開催された世界



わたに あつし
和谷 篤樹さん(48)

コンテスト「ワールド・ハーモニカ・チャンピオンシップス」で優勝。95年も横浜で開かれた同じ大会で優勝した。

3人兄弟の三男。3人は小学生の時からハーモニカ教室に通い腕を磨いた。長兄は学校の先生になり、次兄はプロのハーモニカ奏者になった。篤樹さんも音楽の道にひかれたが、9代目を継いだ母が作ったろうそくの明かりを見た大学生の時、「炎が何かを語りかけてきた感じだとして」、店を継ぐことを決めた。

和ろうそくはハゼノキの実から取ったろうを桜の木で作った型に流し込んで固め、さらに何度もろうを塗り重ね、朱色、金色などの染料をかける。芯はイグサの髓。火をつけると、炎は初めは小さく弱いが、しだいに揺れ出し、大きく美しい姿になっていく。

「静止したり、踊り出したり、和ろうそくの炎は呼吸するんです。どこかハーモニカの演奏に通じます。ハーモニカは吹く時にも吸う時にも音が出ます。呼吸している音楽なんです」

東本願寺、仏光寺、興正寺、大覚寺、東寺などの大寺院や全国の寺から注文が入る。それに一本一本手作業で応える。夜なべ仕事になることも多い。

「それでも自分の作ったろうそくがお堂の中でお経とともに揺れるのを見ると、ありがたいと感じます。人の心をあたたくしてくる、ろうそくの炎とハーモニカの音色は似ています」

主に寺院で演奏会

「わた悟」は京都市下京区七条通西洞院西入ル。電話075・371・7690。営業時間は午前9時〜午後7時。日曜休み。ハーモニカ演奏会は主に寺院で年15回ほど開いている。(大村治郎)

篤樹さんは「和谷三兄弟」と言われたハーモニカ奏者で故小林忠夫の弟子。京都ハーモニカクワルテット(新井尚子さんや田中さん(前理事長の娘さん)等と共に活躍。メンバーの結婚等あり解散)のリーダーでしたが、家業を継いで後もハーモニカは続けておられるようです。当連盟理事でもあります。

ハーモニカ以外の音楽を聞こう

吹奏楽アンサンブルコンテストを見て

吉村 則次

2013年12月26日、年末近く（多分、学校が休みだから、この頃に開催するものと思う）大阪府アンサンブルコンテスト、高校の部、府吹奏楽連盟及び朝日新聞社主催、堺市市民会館大ホール（1,400名）1,000円、というのを見に行きました。

行った理由は、主に、次の目的でした。

- 1、ハーモニカと同じ息の力を使う管楽器の音のハーモニーの美しさを楽しむ
- 2、ハーモニカ以外のコンテストの運営方法を知る
- 3、指揮の方法を知る

このコンテストは、3日間に分けて開催されたアンサンブルのコンテストでした。

小学校、中学校、高等学校、大学校、一般及び職場団体に分けられた、主に管楽器の少人数（最大で8名、打楽器を含み、弦楽器はベースのみは含まれていましたが、他の弦楽器は含まれず）の私が行ったのは、そのうちの高校の部でした。

打楽器再発見

私の予想と違ったのは、「打楽器三重奏～八重奏」及び「管打六重奏～八重奏」というカテゴリがあったこと、また「打楽器」の範疇には、木琴、パイプドラム、グロッケン・シュピール、チャイム（のど自慢で使われているあれ）等の音階のある楽器が含まれていること、でした。

我々が愛するハーモニカと管楽器や打楽器（太鼓、ドラ、ティムパニー、大太鼓等及びマリンバ、木琴、グロッケン・シュピール、

ビブラフォン、チャイム等の大型の、高価な楽器）を比較するわけには行きませんが、音の美しさに圧倒され、9:00から17:30まで延々8時間、聞き続けました。

言葉では言い表せませんが、感銘を受けたコンサートでした。

すべてが金賞、銀賞、銅賞に区分けされ、金賞の中から上の関西大会に進出するものを決めるということでした。あれだけ多くの団体が参加すると、初めから1,2,3位を決めるということは困難で、まず最初に、全出場者を金・銀・銅に分けるということは、やむを得ないこと、ハーモニカのコンテストとは異なる、と思いました。

楽器の構成により、打楽器三重奏

打楽器四重奏・・・

打楽器三重奏とか打楽器四重奏というのは、楽器の数ではなく、演奏者の数で、一人の人が複数の楽器を担当しておりました。

最大の八重奏でも、指揮者はおらず（多分ルールにより認められてない）メンバーの一人が、キューを出していました。

当会報に毎回寄稿されている、池田輝樹先生が常に言われるように、われわれハーモニカ愛好者は、ハーモニカを聞くだけではなく、他の楽器の演奏も聞こう、音楽だけでなく、絵画や彫刻や映画や日本芸能のような分野に親しむことも必要と、述べられているのがよく分かります。

みなさん、ハーモニカのみに集中せず、他の分野の芸術にも親しみましょう。



古い教則本より「An Arizona Home 丘のわが家」

寺村 安雄

Waltz

An Arizona Home

丘のわが家

浅田 保 詩
細川 潤 一編曲

①

3/4 5 | 5 | 2 | 3 - 2 | 6. 4 4 | 4 - 4 4 |

3. 2 | 7 | 2 | | 0 || 5 | 5 | 2 |

と ほ や ま
よ く か せ

3 - 2 | 6. 4 4 | 4 - 4 4 | 3. 2 | | 7 | 2 - . |

に ゆ き は あ れ ど ま き は は る の り ろ
は さ わ や か に て あ そ ぞ ら か が や け は

2 - 5 | 5 | 2 | 3 - 2 | 6. 4 4 | 4 - 4 4 |

つ の お え は と ほ く ひ び き ひ つ
ま さ は に は う れ ひ も な く の ど

3. 2 | 7. | 2 | | - . | | - || 3 | 5 - . | 4. 3 2 |

じ の ひ れ を よ お ぶ が は の ほ
か に ひ か げ さ す

3 - . | 3 - 5 5 | 3 - 3 3 | 3. 5 3 | 2 - . |

と り く さ ひ ら は し げ り て

2 - 5 | 5 | 2 | 3 - 2 | 6. 4 4 | 4 - 4 4 |

へ い わ の ひ か り て り そ ん と こ

3. 2 | 7 | 2 | | - . | | - 0 :|| 1. | - . | | 2. | - . | | 0 0 ||

し へ い わ が い へ

[Blauel Himmel]

Blauel Himmel

碧 空

西宮森太郎 編曲

G[♯] minor
G minor
G major
Tempo di Tango
G[♯] minor
G minor

2/4 $\overset{x}{3} \overset{x}{3} \overset{x}{\#4} \overset{x}{\#5} \overset{x}{6} \overset{x}{7} \overset{x}{1} \overset{x}{2}$ ||: 3 — | 6 . $\overset{w}{7} 1$ | $\overset{w}{2} \overset{w}{3} \overset{w}{2} \overset{w}{7}$ | 7 — | 2 — |

p あ ひ ふ か き そ ら く

$\#5$. $\overset{w}{6} \overset{w}{7}$ | $\overset{w}{1} \overset{w}{2} \overset{w}{1}$ 6 | 6 — | 3 — | 6 — | $\#4 \#1$. $\overset{w}{1} \overset{w}{2} \overset{w}{4}$ |

mf も み え ね そ ら *f* あ を そ ら う ら

6 — | $\#4$ — | 3 — | $\overset{w}{1} . \overset{w}{7} 6$ | 6 — :|| $\overset{6}{6} \overset{7}{7} \overset{1}{1} \overset{7}{7} \overset{6}{6} \overset{3}{3} \overset{7}{7}$ |

ff は *p* て *to.coda* \oplus *ff* *p* し ら ず

ff $\overset{w}{1} \overset{w}{6} \overset{w}{7} \overset{w}{1} \overset{w}{7}$ *p* 1 | $\overset{w}{7} \overset{w}{6} \overset{w}{3} \overset{w}{7} \overset{w}{1} \overset{w}{7}$ *ff* $\overset{w}{1}$ | $\overset{w}{2} \#1$. $\overset{w}{2} \overset{w}{1} \overset{w}{7} \overset{w}{4} \#2$ | *ff* $\overset{w}{3} \overset{w}{7}$ $\overset{w}{1} \overset{w}{2} \#1$ $\overset{w}{2}$ |

$\overset{w}{1} \overset{w}{7} \overset{w}{4} \#2 \overset{w}{3} \overset{w}{7} \overset{w}{1}$ | $\overset{w}{2} \overset{w}{2} \overset{w}{2} \overset{w}{4} \overset{w}{4} \overset{w}{3}$ | $\overset{w}{2} \overset{w}{2} \overset{w}{1} \overset{w}{7} \overset{w}{7} \overset{w}{6}$ | $\#5 \overset{w}{5} \#4 \overset{w}{3} \overset{w}{3} \overset{w}{2}$ ||

G major
 $\overset{w}{3} \overset{w}{5} \overset{w}{1} \overset{w}{2} \overset{w}{3} \overset{w}{1} \overset{w}{6} \overset{w}{5}$ | $\overset{w}{4} \overset{w}{3} \overset{w}{2} \overset{w}{5} \overset{w}{2} \overset{w}{2} \overset{w}{2}$ | $\overset{w}{2} \overset{w}{7} \overset{w}{5} \overset{w}{7} \overset{w}{4} \overset{w}{4} \overset{w}{4}$ | 3 $\overset{w}{0} \overset{w}{5} \overset{w}{1} \overset{w}{2}$ | $\overset{w}{3} \overset{w}{5} \overset{w}{5} \overset{w}{5} \overset{w}{5} \overset{w}{5}$ |

p あ そ ら あ ふ く の べ に わ れ ら ふ た り か た ら ち ゝ も ゆ る お も ひ む れ に

$\overset{w}{5} \overset{w}{4} . \overset{w}{7} \overset{w}{4} \overset{w}{4} \overset{w}{3}$ | $\overset{w}{3} \overset{w}{2} \overset{w}{2} . \overset{w}{5} \overset{w}{2} \overset{w}{1} \overset{w}{7}$ | $\overset{w}{1} \overset{w}{0} \overset{w}{3} \overset{w}{4} \overset{w}{5} \overset{w}{4} \overset{w}{3} \overset{w}{2}$ | $\overset{w}{1} \overset{w}{3} \overset{w}{4} \overset{w}{5} \overset{w}{5}$ | $\overset{w}{1} \overset{w}{6} \overset{w}{7} \overset{w}{1} \overset{w}{2} \overset{w}{1} \overset{w}{7} \overset{w}{6}$ |

mp ひ め う れ し は る の ひ と と き ひ る に は ひ か り た へ に か

$\overset{w}{5} \overset{w}{4} \overset{w}{0} \overset{w}{3} \overset{w}{5}$ | $\overset{w}{6} \overset{w}{3} \overset{w}{4} \overset{w}{5} \overset{w}{6} \overset{w}{0} \overset{w}{5}$ | $\overset{w}{4} \overset{w}{2} \overset{w}{2}$ | $\overset{w}{4} \overset{w}{2} \overset{w}{1} \overset{w}{7} \overset{w}{6} \overset{w}{5} \overset{w}{4}$ | $\overset{w}{3} \overset{w}{6} \overset{w}{0} \overset{w}{5} \overset{w}{4}$. 3 |

f が や き て *f* い ひ に は つ き を *f* ほ の か に う か べ る あ を そ

$\overset{w}{2} \overset{w}{0} \overset{w}{3} \overset{w}{4} \overset{w}{5} \overset{w}{4} \overset{w}{3} \overset{w}{2}$ | $\overset{w}{1} \overset{w}{3} \overset{w}{4} \overset{w}{5}$ | $\overset{w}{6} \overset{w}{3} \overset{w}{4} \overset{w}{5} \overset{w}{6} \overset{w}{4} \overset{w}{6}$ | $\overset{w}{5} \overset{w}{4} \overset{w}{0} \overset{w}{3} \overset{w}{4}$ | $\overset{w}{6} \overset{w}{2} \overset{w}{3} \overset{w}{4} \overset{w}{5} \overset{w}{0} \overset{w}{6}$ |

mp ら う れ し *G[♯] minor* *G minor* そ の あ を そ ら の も と に む つ み か た

$\overset{w}{5} \overset{w}{3} \overset{w}{3}$ | $\overset{w}{5} \overset{w}{1} \overset{w}{6} \overset{w}{5} \overset{w}{4} \overset{w}{3} \overset{w}{2}$ || $\overset{w}{6} \overset{w}{7} \overset{w}{1} \overset{w}{7} \overset{w}{6} \overset{w}{4} \#2$ | $\overset{w}{3} \overset{w}{7} \overset{w}{1} \overset{w}{7} \overset{w}{6} \overset{w}{4} \#2$ | $\overset{w}{3} \overset{w}{7} \overset{w}{1} \overset{w}{7} \overset{w}{6} \overset{w}{4} \#2$ |

f ら は *f* あ い の さ き や *f* き *f* *ff*

$\overset{w}{3} \overset{w}{4} \#2 \overset{w}{3} \overset{w}{4} \overset{w}{2} \overset{w}{3} \overset{w}{4}$ | $\#2 \overset{w}{3} \overset{w}{4} \overset{w}{2} \overset{w}{3} \overset{w}{4} \overset{w}{2} \overset{w}{3}$ ||

D.S. \oplus Coda *pp* 6 0 6 0 | 6 0 0 ||



平成 25 年大阪市戦没者追悼式・慰安会に出席して

寺村 安雄



昨年 12 月 6 日、大阪中之島にある中央公会堂に於いて大阪市戦没者追悼式の慰安会でハーモニカ。ソロ演奏する機会がありました。この式典は戦後、毎年大阪市が先の大戦で戦没された遺族をお招きされた行事で、市長、市会議長、全区の区長及び各区遺族代表等の列席の元に厳粛に催された式典でした。

舞台中央に設置された「大阪市戦没者の霊」と記された追悼の碑に向って市長・市会議長・遺族代表が戦後から現在まで平和が続いて来た事を報告し、今後もこの平和が続いて行くように心血を注ぐ決意であると表明されたのは印象に残りました。

また要職者のみならず、各地区の遺族代表が遺霊碑に献花されている途中で、一人の女性に見覚えがありました。その女性とは小学校、中学校で同窓生で隣町で姉と母親と三人の母子家庭でした。中学校卒で仕事に付き、母親を支えていました。その理由が彼女の父は戦没者であった事を初めて知りました。私の兄の家は駐車場に変わり果てていますが、彼女は養子さんを貰ってお孫さんたちと鉄骨 5 階建てのビルに住居を構えている。「良いお嬢さんが来てくれたんだなあ」と聞きますと、彼女曰く「私が始末に始末を重ねて小さな木造家屋を 5 階建てのビルにした」と。ただ私は頷くだけでした。

私が初めて中央公会堂を見たのは小学校へ入学して最初の遠足でした。昭和 22 年の春の頃、暑い日でした。大阪市谷町四丁目にあった学校からまだ焼け跡の傷も残る殺伐とした風景を見ながら谷町筋を行軍してヘトヘトに疲れて中之島公園に辿り着きました。目に入ったのが二つの赤いレンガの建物、中央公会堂と大阪高等裁判所、そして緑の芝生、樹木、川面に浮かぶ白いポンポン蒸気船、この三色は鮮明でした。そ

こは天国、パラダイスの世界でした。

この中央公会堂の建立の経緯を紹介します。

中央公会堂は珠玉の殿堂と称される程、ネオルネッサンス風の全国的にも広く知られる大阪の誇りの建物です。この地下にこの建物を寄贈した大阪・株仲介人、岩本栄之助の数々を展示されている部屋があります。

「その秋をまたで散りゆく紅葉かな」と書かれた辞世の句があります。その意味する所は、親譲りの公德心の高い順風満風の時に大阪の文化、関西の文化の発展に寄与したいと私財百萬圓の寄贈を発表しましたが、その後、株式相場の思惑が外れ一転して破綻に追い込まれてしまいました。その事を知った大阪市も一時も猶予として三十萬圓の融資を申し出しましたが、栄之助は一度寄贈した行為に一片の陰りや曇りがあってはならないとピストルで自決して枕元に置かれた短冊にしたためたのがこの句であります。

その時はまだ公会堂は骨組みだけの未完成で、奥方のお腹にはやがて生まれ出て来るであろう 2 番目の赤ちゃんを宿していました。栄之助の心中を察するに余りある早い旅立ちである。この紙面ではとても語り尽くせない壮絶なドラマがあります。この義侠心溢れる物語はこの公会堂が中之島に燦然と輝く限り語り継がれることと思います。栄之助が建てた岩本家のお墓は京都・九条大谷本廟にあり、最も大きく、道筋にあるお花屋さんが毎月一日と十五日に供花されています。

厳かな雰囲気のある式典に後、慰安会の最初は「なにわみをつくし相撲甚句会」の男女十五人の混声合唱隊が朗朗と恒久の平和を願った歌を唱い上げました。長崎鎮魂の「長崎の鐘」「大阪名所巡り」等自作の曲を披露してくれました。

その後の私のソロ演奏中、ご遺族のことや、この公会堂を残してくれた栄之助さんの事等が次々と頭を駆け巡りましたが、高い天井、太い円柱、大理石の床、壁等で、素晴らしい音響効果に助けられて30分間の演奏は短く感じられました。図らずもアンコールが出て、ハーモニカはポケットのオーケストラと称せられて野外

で吹奏できる曲とコメントして「カッコー・ワルツ」で終わりました。

2年後の2015年の夏には平和になって70周年を迎えます。この平和が恒久的に続く事を願って再度、この公会堂に於いてハーモニカチャリティコンサートを催すことを会場の皆様にお知らせしました。

大阪市戦没者追悼式でのハーモニカ演奏を聴いて

小川 ふじ子

御堂筋のいちようの木も少し色あせて見える、12月6日大正ロマンの風格漂う建造物の中で、ハーモニカ演奏を聴ける喜び。胸いっぱい中之島の中央公会堂へ出かけました。

式典の後、第2部で寺村先生のハーモニカ演奏があり、戦争で犠牲になられた方への思いなのでしょう。1曲目は「誰か故郷を思はざる」から始まりました。「荒城の月」「枯葉」等々、おなじみの曲もありましたが、吹いて吹いて、練って練って、そこで又いろいろな色付けをされ、1曲1曲心をこめて演奏されているのが、いつも新鮮で品良く、聞く人の心に響くのでしょうか。

どの曲も歴史と風格を備えた建物(国指定重要文化財)にふさわしい演奏で素晴らしい芸術を身近に鑑賞できた満足感と幸せ気分で帰路につきました。

私もアンサンブル(JIAN)を結成して来年で5年を迎え、おかげさまで最近では演奏を聴いて頂ける機会にも恵まれるようになりましたが、いつも心がけているのは、「良かった」ではなく「感動した」という言葉が貰える演奏をと思っています。合言葉は「感動した」です。これは私たちにとってかなり高い目標ではありますが、寺村先生の演奏を見習って何時かは私たちの演奏も芸術の域にと練習に励んでいます。

「女性ハーモニカトリオミネストローネCD発売」

もり・けん

日本ハーモニカ賞などのインタビューでお世話になった伊藤加奈さん(東大阪出身)と久しぶりに会った。彼女は「ミネストローネ」という女性3人のハーモニカトリオのメンバーで、CDをいただいたので、ちょっとご紹介を。メンバーの高橋早都子さんと、茨城県で谷川俊太郎作詞、もり・けん作曲・演奏を発表した時に共演してもらったことが。あと、東和美さんの3人が様々なハーモニカを駆使して演奏活動をしており、結成10年になる。聴かせてもらったがイキもびつりの素晴らしい演奏だった。



【収録曲 全5曲】1. 子犬のワルツ 2. チャルダッシュ 3. フニクリフニクラ 4. トルコ行進曲 5. ヴァルセンチーノ ¥1,000 (送料1~2枚: ¥200 3~4枚: ¥300 5枚以上: 無料)

ミネストローネHP <http://www.hamo-mine.com/>

・お求めの際は→お名前、ご住所、お電話番号、枚数をご記入の上、FAX 03(6385)7604 迄
6月22日(日) ミネストローネ10周年コンサート第1弾 東京・保川 江戸資料館 13時~
ゲスト: ボニージャックス チケット発売 4月15日予定 問 S企画: 090-4819-9971

ハーモニカが上達するための大切なこと (54)

全日本総合音楽院・院長 世界ハーモニカ連盟日本支部 (F・I・H) 役員 池田 輝樹

(17) 演奏する曲についてよく調べること

まず、最初にしなければいけないことは、演奏する曲の原譜を見つけることです。できればオーケストラ用のスコアをさがします。最近は国内で出版されていないければ、海外からの輸入楽譜がたいていは入手できます。案外、日数がかかかりますので、早めに依頼することです。なお、値段も調べないと、数10万円するものもありますので注意が肝要です。私自身、現在も各種の分野(クラシック、ポピュラー、歌謡曲、民謡、童謡等々)の楽曲を集めておりますが、費用も相当にかかります。最近は英語版のオペラの全集等々も購入いたしました。各種の歌の楽譜ならば、是非共三段楽譜(ピアノ伴奏と旋律)は必ず揃えたいものです。

なお、最近は悪い楽譜も多数出版されておりますので、注意が必要です。悪い楽譜というのは、売れ行きを念頭に考えてせつかくの良い曲をやさしく改変してしまっている曲が多く見受けられます。どれが良い楽譜なのかを見分ける能力も必要になってきます。むずかしく考えないで、とにかく原譜であれば良いと思います。

そして、それをハーモニカ向きに編曲しなければなりません。ハーモニカも複音、クロマチック、10穴等、大きく分けると三種類になります。原譜の音域、和音等々を考えないといけないので、できればハーモニカに詳しい音楽家に依頼すると良いと思います。

前にもお話したと思いますが、旋律だけの譜や、コード(和音)名がついてない譜面は駄目です。何回もいいますが、ハーモニカの楽譜の中には悪いものもありますのでくれぐれも注意することが肝要です。

楽曲もなるだけ音楽の広い分野からさがすと良いと思います。なるだけ多くの候補曲を考えて、その中からだんだんにしぼっていけば良いのです。ピアノ曲、ヴァイオリン曲、声楽曲、オーケストラの曲等々、音楽の各種の分野を考えていろいろ考えることです。選曲の際には悩みはつきものです。大

いに悩んでいるいろいろ調べてください。良い曲はたくさんあると思います。

なお、できましたならば同じ題名の楽譜に關しまして違った楽器や異なる楽器等々いろいろ手に入れて調べてみるのが大切だと思います。特に気をつけなければいけないことは、楽曲が Traditional (伝説的) な場合、かなり違った楽譜があります。拍子が違っていたり、和音等やまれには旋律が多少異なったのも見つかります。たとえば、みなさん方がよく知っている「キラキラ星」(お星さま、ABCの歌という題名もあります。)等はよくよく気をつけることが大切です。

特に民謡(日本や外国等)の場合はよく気をつけること。私は日本民謡に關しましては日本放送出版協会(N.H.K出版)から出ている「日本民謡大観」(全10巻で現在は残念ながら絶版になっております。)又、「世界民謡全集」(音楽之友社、全16巻、門馬直衛編著)11巻以降と9巻は発売されたかどうかは判りません。現在は絶版になっておりますが、他の出版物(他社等々)等々も参照すると良いと思います。現在は昔に比べてもいろいろな楽書や楽譜が出回っておりますので大変便利になりました。ただし、購入する側の方が良し悪しを見極めて選択することが必要になります。

ただ、残念に思うことはポピュラー・ミュージックや歌謡曲やセミ・クラシック等の作曲譜や楽譜等が各種の音楽辞典であまり取り上げてくれておりません。私が持っている音楽辞典は次の通りです。

- ニューグローヴ世界音楽大辞典(全6巻、別巻2冊、講談社)
- 平凡社音楽大事典(全6巻)
- ラールス世界音楽事典(上・下巻、福武書店)
- 万有百科事典③音楽・演劇(小学館)
- 音楽辞典(全2冊、音楽之友社)
- 軽音楽便覧(日本放送出版協会)
- 日本歌謡事典(桜楓社)
- 江戸音曲事典(展望社)

- 音楽大百科(全4巻、世界文化社)
- 邦楽百科辞典(音楽之友社)
- 雅楽事典(音楽之友社)
- 世界楽器大事典(雄山閣)
- 箏絃辞典(前川出版社)
- ポピュラー名曲原譜辞典(日本アート・センター)
- その他、数えきれないほどいろいろな種類の辞典をたくさん持っておりますが、たとえば、アメリカン・パトロール(American Patrol、アメリカ巡邏兵、F. W. Meacham 曲、Carl Fischer 出版)やコロラドの月(Moonlight on the Colorado、Billy Moll 詞、Robert A. King 曲、Shapiro Bernctein 出版、C、1930)等々はあまり多くは取り上げてくれておりません。バッハ(Johann Sebastian Bach)やベートヴェン(Ludwig Van Beethoven)等々は大変詳しく掲載されております。これは小説の世界でも同じように思いますが、子どもの読物作家や一般大衆向の小説家はあまり詳しくは書かれた本が少なく、文豪といわれる小説家は大きく取り上げられていることとよく似たものども思いますが、どうも納得がいきません。残念にさえ思いますので、せめて私だけでも詳しく掘りおこしたいと思っている次第です。

トーキー第1号は 宮田ハーモニカバンド

吉村 則次

服部公一著、作曲入門、講談社現代新書 1983年発行、p102に、次のような記述がありました。

日本映画で第一号のトーキーは、「マダムと女房」という作品であるが、(中略)なんと右はしには、リンゴ箱にのった指揮者と、何十人かのハーモニカバンドが写っていたのだ。

ハーモニカバンドとは、まことに日本人らしいアイデア、これなら音も大きいし移動も楽、雨が降ってきても大丈夫、プラスバンドにくらべても出演料も安いはずだ。国産第一号のトーキー映画の劇伴は、宮田東峰指揮のミヤタハーモニカバンドによって録音された、と記録されている。



童謡の力

H26.1.22(日経)

元宮内庁長官 羽毛田 信吾

不慮の死を遂げた友人の一周忌の会のこと。終わりに全員で彼の愛唱歌を合唱した。童謡「みかんの花咲く丘」である。それは、出席者がこもも語ったどの思い出話よりも皆の胸を打った。童謡は、人々に幼い日を思い出させるという以上の特別の感慨を呼び起す。とくに、童謡がさかんに歌われた戦後間もない頃に幼少期を送った私達世代の場合、「みかんの花咲く丘」をはじめ数々の童謡の歌詞や旋律が子供達の情感におおいに影響を与え、長じて後もそれが色濃く残っているように思う。

縁あって、大瀧秀子さんという方が永年献身的に指導してこられた千葉市の「タンポポ児童合唱団」の発表会に何度か出席させていただいた。その都度、子供たちの明るい歌声に俗世の垢を洗われるような新鮮な気持ちになった。その「タンポポ児童合唱団」も、先年、団員の減少により解散のやむなきに至った。

とても大事なものを失うようで、寂しく残念であった。ともすれば子供達まで情緒抜きの厳しい競争の場に身を置かねばならない今日だからこそ、しばし童謡的世界に浸る時間を持つことは、大人にとっても子供にとっても大切だと思う。

庄野潤三の作品の随所に、毎夜就寝前に、童謡一曲を運び、夫のハーモニカ伴奏で妻が歌うという情景が出てくる。童謡への愛着断ちがたき私も、思い立って、私のハーモニカ伴奏で妻が童謡一曲を歌うのを日課にすることにした。しかし、子供の頃少し吹いただけの私のハーモニカ伴奏は、時々音程が外れたり、つかえたりで、ついに妻からストレスが溜まるのでお付き合いし兼ねると引導を渡されてしまった。童謡的世界に浸るのも容易ではない。



あすへの
話題

不慮の死を遂げた友人の一周忌の会のこと。終わりに全員で彼の愛唱歌を合唱した。童謡「みかんの花咲く丘」である。それは、出席者がこもも語ったどの思い出話よりも皆の胸を打った。童謡は、人々に幼い日を思い出させるという以上の特別の感慨を呼び起す。とくに、童謡がさかんに歌われた戦後間もない頃に幼少期を送った私達世代の場合、「みかんの花咲く丘」をはじめ数々の童謡の歌詞や旋律が子供達の情感におおいに影響を与え、長じて後もそれが色濃く残っているように思う。

新春ジョイントコンサートを開催 ～カントリーバンドと共演～

投稿者 坂田 利雄 (文責 西川 修)



私たちは、兵庫県の三木市で、演奏活動を続けているハーモニカバンド「みっきいカルテット」です。

発足は、平成20年、当初のバンド名は「ブルーエコーズ」でしたが、クロマチックハーモニカと福音ハーモニカの路線の違いからメンバー2名の交代があり、現在のメンバーは、ファースト・坂田利雄、セカンド・江口清子、コード・中西里江、バス・内田常雄の4名でその名も一新し、三木市にちなんで「みっきいカルテット」と名乗りをあげました。

そこに、他のハーモニカバンドでは見られないパーカッションの西川修をプラスワンして活動しています。

主な活動地域は、三木市、小野市、明石市、神戸市等で、演奏場所は、地域のふれあいサロン、喫茶店、高齢者大学、敬老会、介護施設、病院等です。

さて、今年で3回目になる新春ハーモニカコンサートですが、出演バンドは我々「みっきいカルテット」と、過去2回出演しております「パールエコーズ」、今回初出演の「神戸カントリースターズ」の3組のバンドです。「パールエコーズ」の皆さんは、バランスの取れたそつのない演奏が素晴らしく、安心

して聞けると仲間内でも評判のハーモニカバンドです。

そして今回は、「神戸カントリースターズ」というカントリーバンドにゲ

スト出演して頂きました。

ゲスト出演のきっかけですが、私は、カントリーダンスを習いに行っていたほどカントリー音楽が大好きで、パーカッションの西川にカントリーメンバーがいることは知っていました。いっかは同じステージに立ちたいなあ、果たしてそんなことが出来るのかなあと思いつつも、彼を通じて第3回目の新春ハーモニカコンサートにゲスト出演を依頼したところ、図らずも快諾を得たことから今回の新春ジョイントコンサートが実現しました。

「神戸カントリースターズ」は、阪神淡路大震災の年(19年前)に関西大学軽音楽部OBが中心になって結成し、神戸・阪神間を中心に活動



を続け、セミプロ級の実力を持つカントリー専門のバンドです。

カントリーも演奏スタイルと曲目によって、ブルーグラス系とカントリー系に色分けされますが、神戸カントリースターズはスチールギターやエレキベースを入れたカントリー系のカントリーバンドです。

出演者総数 21名 演奏時間3時間 観客数240名の大規模なコンサートとなり、おおいに盛り上がりました。

コンサート終了後の打ち上げは、過去何回となくコンサートを開いている三木市内の「ジャズカフェベシー」を貸し切って行いました。

会話が進み、打ち解けて来ると、パールエコーズのリーダーとカントリースターズのギターリストが同じ町内に住んでいて、共通の友人がいることや、みっきいカルテットのメンバーの実兄が、カントリースターズのメンバーと勤務先が一緒であったり「世の中狭いねー」と感心しきりの場面もありました。

また、音楽が縁で広がる人の輪を実感させられ、昨年の漢字で清水寺の森清範貫首が揮毫した「輪」に話が及び、音楽に携わっていて良かったなあ、今後も機会があれば共演しましょうと音楽仲間としての結束を確認しながら散会しました。

最後に93名から回答を頂いたアンケート結果をご紹介します。

ハーモニカについて

- 初めてのハーモニカでしたが、素晴らしい、また来ます。
- 年に2～3回は開催して欲しい。
- ハーモニカの種類や知識を教えて欲しかった。
- もう少し新しい曲が聴きたかった。歌声コーナーを増やして欲しい。
- 衣装を揃えていて感じが良かった。

た。

- ソロ演奏とバンド演奏の割合は、これで良いが60%、ソロを演奏を増やして欲しいが40%であった。

カントリーについて

- 80%の人がカントリーを初めて聴いた。
- 好きな楽器で多い順番は、スチールギター、バイオリン、バンジョードラムの順番であった。
- ハーモニカとカントリーの共演は大変楽しかった。
- 久しぶりにカントリーを聴き、楽しいひと時を過ごせた。

その他

- 去年も音響が悪く、今年も改善されていない。音楽が台無しになる。
- コンサートの時間は2時間ぐらいが、聴きやすい。
- 入場無料なので気軽に来られて楽しめた。

以上でコンサートを終幕しましたが、今年も沢山のハーモニカファンに囲まれ、大声援を浴びる出来栄えに仕上がったことは、出演者全員至高の満足を得たことでしょう。

更なる飛躍を目指し「みっきいカルテット」と「パールエコーズ」は頑張ります。



ハーモニカ奏者 高比良由郎さん急逝

吹上 晴彦



理事 高比良由郎さんが11月下旬に体調を崩され、1月31日に急逝されました。82歳、連盟にとって大切な人であり、今後なにかとご意見を伺おうとしていた矢先のことでした。

高比良さんは、表立って出る方ではなかったのですがご存知でない方もおられると思いますが、常に私どもを支えていただきました。とりわけ小林研修部長を深く支えられていました。故小林忠夫先生と同年の方で、産経学園の教室で長くハーモニカのレッスンを受けられ、地元の堺市でハーモニカサークルや、慰問活動などもされていたようです。小林由美子先生を尊敬しているとまでお嬢様に話されていたようです。教室ではレッスンをさせていただく我々が出るまで、ドアの前に立たれ、必ず後から出られる。そして、みなさんの前で立って演奏される時は、私どもに一礼して「お願いします」と言われてから演奏される。学ぶ側の立場であるという姿勢を絶対崩さない、人生の大先輩でした。

税関の厳しいお仕事を勤め上げられ、定年後に始められた趣味ですが、こよなくハーモニカを愛されていました。

式場の入り口には自らの写真と愛用のハーモニカが何本も置かれ、弔問客の涙を誘っていました。

私も昨年8月14日に父を亡くしましたが、その時以上にショックで、深い悲しみに襲われています。「何で勝手に先に逝くのですか」と心の中で叫び、通夜では祭壇前で私、そのあと小林研修部長がハーモニカ演奏をさせていただきました。告別式の最後に流された1曲、昨年の「ハモニ館まつり」での高比良さんの演奏には止めどなく流れる涙、涙せずには聞けませんでした。その演奏は高い人格とそれを物語るように謙虚で、丁寧に表現されているきれいな、そして、やさしい音色でした。

ご子息のご挨拶で「尊敬する父」と言わしめたほどの方で、ハモニ館で行う年間行事には必ず出席され、おられるだけで我々が安心できる包容力と人格の高さを感じる方でした。

私は告別式で出棺の折、棺の後を歩きハーモニカ演奏をさせていただきました。車が見えなくなるまで高比良さんにハーモニカ演奏を捧げました。

ご冥福をお祈り申し上げます。



明日から使える複音ハーモニカ!

吹いたら楽しい!おもしろソング!【改訂版】

判形: 菊倍判

(303×227mm)

72頁

ISBN 978-4-7732-3803-7

JAN 4513870038036

価格: 1,600円 (+税)

発行所: (有)ケイ・エム・ピー

Tel.03-3554-0741



ハーモニカで音楽の力実感

無職 龜野 稔
(兵庫県 82)

昭和一桁生まれの私。3年前に妻を亡くしたが、幸い元気に1人で暮らしている。そのため今まで老人会に関心は無かったが、地元の老人会の役員さんに誘われて昨年入会した。

2カ月ごとに約20人の会員が集まり、1時間半ほど話し合う。話題は市からの通達のことやゲートボール、輪投げ大会の報告など。最後にみんなで季節の歌を伴奏なしで歌って散会

する。しかし歌声が小さい。そこで思い切って、今年初めての集会の時に、役員さんをお願いしてハーモニカで伴奏をさせてもらうことにした。

長い間ハーモニカは吹いていなかったが、リズムに気をつけて吹くと皆さんが大きな声で歌ってくれた。頼まれもしないのにアンコールで「ふるさと」を吹いたら、大合唱。盛大な拍手と笑顔で終わった。改めて音楽の力を実感した。たかがハーモニカ、されどハーモニカだ。

2014年2月19日朝日新聞掲載 田口幸輝提供



宇野宗佑先生伝 (ハーモニカを愛す百人の会より) 菅村 一雄



右から故宇野宗佑、筆者の家内和子、筆者菅村一雄
宇野家の茶会に招かれ中庭にて 1994年春

今回の探訪の動機は10年ほど前にもありましたが、資料不足で、残念ながら頓挫してしまいました。ところが、昨年の関西ハーモニカ祭り、思わぬ方と舞台裏でお会いし眠っていた私の長年の思いが、筆を走らせることになりました。また、1995年日本ハーモニカ推進協議会が発行した「ハーモニカを愛す百人会」のメンバーの中に、宇野宗佑先生のお名前を確認させていただきました。

楽器演奏をしている人にとっては、誰しも、楽器との出会いというものがあります。(佐藤秀廊先生は幼少の時、父の手風琴を習っている内に壊れてしまい、近所の兄さんにハーモニカを貸してもらったのが動機であった)。宇野先生にも幼くしてその動機があった。叔父豊蔵は甥が幼稚園で演じる「楠 正成」のために、舞台の袖で「桜井の駅」(桜井の訣別)をハーモニカで演奏してみせるのである。また、少年時代には京都にまで出かけ(当時汽車で野洲・京都間は片道2時間を要した)、映画をよく見せたものである。当然、映像はもとより、巾広く映画音楽も耳にしたであろう。

彦根高商時代(1940年代)全国的にハーモニカバンドが広がりを見せていた、学舎で学ぶ傍ら、ハーモニカ演奏も楽しんでいた。「眼もはろ

ばろと暁の湖上を渡る春風に…江崎三男作詞・古賀政男作曲 偲聖寮寮歌」彦根城を眼前に、背には広大な琵琶湖が控え美しき自然の環境が、温かく彼等を育てていた。

しかし、太平洋戦争も暗雲立ちこめるにつれ、音楽を楽しむ心の余裕は奪われていった昭和18年12月1日学徒動員令により神戸商大在学中、学徒出陣で太平洋戦争に参加した。

彼等に乗せた軍用列車は京都・下関、玄界灘を渡り、朝鮮・満州へ(現中国東北部)。

特別攻撃隊隊員の食事のまずさを知り、炊事兵に出撃まであと3日、毎食の食事の点検を行い、自らの納得する食事を出させるようにした(当時陸軍主計少尉)。

終戦武装解除後、江南からナホトカへと向うのだが、数日後帰国の期待むなしく、ずらりとつらな無蓋車に何時間も揺られ、千人ほどの大移動が始まるのである。ようやく大森林の兵舎にたどり着くが、そこは鉄条網が二重に張り巡らされ、見張り番の望楼が威嚇していた。もはや完全にこの国のワイヤナープレーン(捕虜)になった。

毎朝8時集合で、奥深い森林の伐採作業と運搬に駆り出される。ここでも彼は千人にも及ぶ人たちの食事の準備係として働いた。

ある時は霜降る砂浜で依然として露営をしていた。崖を照らしていくつも焚火が燃えていた。屋根を葺いた筈まではいで、どんどん投げ込んだ。そんな浜辺のどこかでハーモニカが鳴って



「町家うの家」旧中仙道沿い駅から徒歩北へ15分

いる。しかし「旅愁」のメロディーにはあまりにも四方が荒涼としていた。

けれども人々は嘯みしめるようにそれを聞いていた。風が、波の音が、時とハーモニカの声を攫った。ソ連兵が一人、石ころのように寝そべっている人々の頭を踏みつけながらその音を採っていた。

ある場所では、ソ連兵は我々を尻目に、手風琴(アコーデオン)で陽気に踊っている。敗戦国の捕虜としてのみじめさを感じる光景でもあった。(ダモイ・トウキョウより)

出陣の時ハーモニカを持ち出せなかった宇野先生は、現地の高利貸しのお婆さんに、持っていた万年筆とハーモニカの交換を頼むのである。お婆さんはししぶその交換に応じたのである。

何度も祖国への帰国の夢を断たれるのであるが、昭和22年10月22日ダモイ・トウキョウ(祖国帰還)の夢がかなうのである。(ハヴァロフスクからの最終引揚船)

帰国後宇野先生は宇野家の長子として、造り酒屋の家業を引き継ぎ、政界への道は元より多彩な趣味の道へも歩まれるのである。ピアノ、ハーモニカ、シャンソン、絵画、人形造り、また犂子とい俳号をもつ俳人でもあった。宇野宗佑全人像には「彼には楽才というべきものがあって、歌も唄えばピアノも弾く、ハーモニカは玄人はだしであり、1988年ワシントンでの日米首脳会議の際は、並み居る要人の晩餐会で、持ち前の技巧を披露する粋もみせた。」とあります。

「町家うの家」には、入り口の一室にビデオがあり、宇野先生のハンドマイクでハーモニカを吹かれる映像がみられる。本格的にハーモニカの技術を学ばれたのは1960年代～1970年代だろうか。映像や手元にある資料からすると、数名のハーモニカの先生の名前があがってくる。森本恵夫先生、吉森正隆先生、斎藤寿孝先生、これらの確認は、これからの調査をまたねばならないが、いずれにしても、深く勉強されておられたようである。

大きくうねる時代の波を乗り越えられ、いつでも大衆の視線で、広く活動されておられた先生の姿が偲ばれます。

幸いにも私の手元に宇野先生と撮った一枚の写真がありました。いま思うと、何かご縁があったように思われてなりません。あの彦根城のお堀り沿いの学びの道を、寮歌を唄って過ごしたあの頃から……。

今回の探訪を寄稿するにあたり、快く多くの資料をお貸し下さった横井久子さん、資料確認にご協力下さった吉村則次さん、谷口昌子さんに紙面をお借りし、厚くお礼申し上げます。

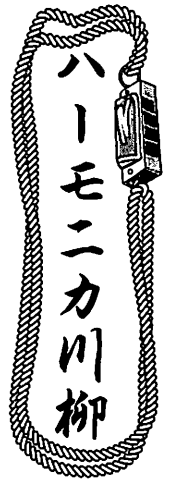
なお、3月15日(土)には「町家うの家」で山森ふさ子&ブルーレイク・サウンズによる、ハーモニカコンサートが行なわれる。

参考資料

大正蘇音器(宇野宗佑・菅原謙次対談) 宇野宗佑著
庄屋平兵衛獄門記 宇野宗佑著
ダモイ・トウキョウ 宇野宗佑著
宇野犂子集(自註現代俳句シリーズ) 俳人協会
宇野宗佑全人像 沼田大介・柚木弘志著
記者とペン(ハコ記事に見る)
中山道守山宿 青蛙房
中山道守山宿歴史ガイド 川端美臣著
ハーモニカの本 斎藤寿孝・妹尾みえ著
横井久子氏 提供資料(新聞切抜き・写真集他多数)



1963年1月15日付神戸新聞 自宅にて家族との吹き初め会



島本 壽義

リードの音 五分ドラマの 絵を描く

ソロ演奏 余韻を残す 匠の技

初心者は イメージ壊す 裝飾音

カラオケ狂 ハーモニカ吹くと 演歌調

リタイヤシ 余生を楽しむ ハーモニカ

生き甲斐を ハーモニカに賭ける ボランティア

リードの音 響く我が家は パラダイス

新田 真理

「ハ」「ア」「モ」「ニ」「カ」を頭に

ハーモニカを 持てば魔術師(マジシャン) 演奏の達人

あんぐりと 口開けて 聴きいる この演奏

「もつとーもつとー」と リクエストしたくなる あの演奏

にこにこ 頬ゆるめ 聴く名演奏

かんしんばつかり してんと練習 しなはれや

吉村 則次

出来栄えよりつむじが気になるハモ祭り

二の腕を気にしてハモニカ吹けるかい

ハーモニカその・ほら・あれでなお楽し

駆け足は無理だわ半歩でも午く(うまく)なりたいこれからは

(私の生徒の作品です)

ハーモニカ合奏に指揮者は必要か？

15人以内なら、指揮者はいらぬ

吉村 則次

オーケストラには指揮者が必ずいる

世の中のオーケストラとか交響楽団、シンフォニックバンドとか言われるものには、必ず指揮者がいる。

一方、10-15人ぐらゐの弦楽合奏、木管アンサンブル、金管五重奏団等には、指揮者がいない。

どんなときに、指揮者が必要なのか、なぜ指揮者が必要なのか、考えてみよう。

指揮者の役目は「よーい、どん」だけではない

1、音楽の始まり、フレーズの始まり、フレーズの終わり、音楽の終わり、等を団員に知らせる。これから、どんなスピードで演奏しようとするのかを団員に示す。

オーケストラは、通常50人以上、合唱団が加わると200人以上のものが参加する。こうなると、右奥のものは、左手前の人(たいていはバイオリン)の音が聞こえない。したがって、音の出だしを、目で見える

形のあるもので示さなければならぬ。

これは指揮者のもっとも目立つ仕事で、だれもが疑問がないと思う。

2、曲の強弱や緩急等の曲の感じを団員に伝える一番話題に上がるのは、ベートーベン作曲交響曲第五番の出だしの合図である。

以上2件は、オーケストラの演奏を聞くときに、必ず目につくことであるから、理解できる。

弦楽合奏には、指揮者がいないことが多い

小編成の楽団には、通常、指揮者がいない。それでは指揮者に必要な上の2件は、どうしているのだろうか。これはたいていメンバーの一人がこの仕事をしている。それは、この曲のスタートは、または、このフレーズのスタートには、誰がキューを出す、というようなことを、メンバーの間で前もって決めている。ですから、曲の始まり、フレーズの始まりには、演奏者は、特定の団員の動きを見ている。

指揮者の仕事はほかにも多くある

指揮者は、指揮棒を持って、ステージへのドアを係の人にあげてもらって(自分であげたり閉めたりすることはない)、カッコよく左から出て来て、指揮をして、多くの拍手を代表してもらって退出する。

しかし、我々の目につかない場所で、ステージに立つまでの長い苦しい、自分だけの勉強と、団員を入れた練習がある。

常任指揮者、客演指揮者、補助者等によって長さは異なるだろうが、かならず事前に、団員と一緒に練習をしている。そのとき、団員の中の音の間違い、リズムの間違い等を発見して、修正をしている。また、そのときに、指揮者自身が考える、緩急、強弱、ニュアンスを指示している。

そもそも第一に、指揮者は、演奏をさせようとする音楽を理解しなければならない。譜面を見ただけで、音が浮かんで来るようではなければならない。一つ一つの楽器の音のみでなく、本の形になった全体の譜面(スコア、総譜という)を理解し、オーケストラ全体でどういう音になるのかを、自分の頭の中で、浮かべなければならない。

普通、指揮者と言われる人は、多くいるメンバーの誰が間違いをしたかを指摘できるとのことである。バイオリンが10人いたとすると、そのうちのどの人が間違った音を出したかをも指摘できそうである。指揮者イコール指導者であって、ステージに立ってカッコよく棒を振るのは、その最終段階である。

ハーモニカ・バンドに指揮者は必要か

上に述べた指揮者の必要性をチェックして行くと、15人ぐらい以下のハーモニカ合奏には指揮者は必要がないと私は思っている。団員の中に入って、自分もハーモニカを吹きながら指揮をすればいいと、私は思っている。その場合、必ず団員は馬蹄形に立って、指揮する者を見ることが出来る形にしていなければならない。

どうしてハーモニカ合奏とコーラスは、ステージに平行に立つのだろうか。

オーケストラに於いては、バイオリン奏者は、われわれに右半身を見せるだけで、指揮者の方を向いている。チェロ奏者は、われわれに左半身を見せるだけで、これも指揮者の方を向いている。オーケストラ団員全員が、我々観客には関心を払っていない。

「日本の芸能には指揮者がいない」というのは決まり事である。30人の大正琴の合奏も、多くのお琴の合奏も、お琴や太鼓、三味線、尺八を含んだ踊りの伴奏、文楽の伴奏も、指揮者を見たことがない。これは、阿吽の呼吸を団員が感じて(掛け声がある場合もある)演奏をしているものであって、素晴らしいことである。

われわれも、これに習いたいものである。

他の人の音が聞こえにくい？

ハーモニカ合奏においては、たとえば右端の人は左端の人の音が聞こえない。したがって、指揮者が必要となる、ということをよく聞く。これは正しいことと思う。

音楽ホールには、たいてい「音響反射板」という設備がある。我々がハーモニカ祭りや西日本コンテストに使った堺市のサンスクエア堺は、音響反射板がない。西日本コンテストによく使った琵琶湖ホール小ホールや、大阪のいずみホールも同じである。これらは、もともと音楽ホールとして設計されているので、音響反射板というものがすでに備え付けられているものと同じものだ理解してよい。

オーケストラ演奏で音響反射板を使ってないのは、見たことがない。これは、演奏者の音が聴衆によく聞こえるように、という目的と同時に、オーケストラの他の団員の音が自分に聞こえるように、という目的もあるものと思う。

ハーモニカ・コンサートにおいては、音響反射板を使っていない場合が多い。だから、音は前後ろ、上下左右に逃げて行く。

音響反射板を使うと、人の出入口が狭くなり、ハーモニカ祭りのように多人数のものが、入れ替わり立ち代わり、短時間に出入りするには、時間がかかり過ぎて、不適當である。だから、使いたくても使えないという理由もある。

ハーモニカ・コンテストでは、小アンサンブルには指揮者が禁止されている

海外のハーモニカ・コンテストでは、小アンサンブルには指揮者が禁止されている。FIH ジャパンのものは規定がない。西日本ハーモニカコンテストでは、大アンサンブル(7名以上)以外は指揮者不可、と決められている。

くらわんかカルテット

第 7 回

ハーモニカコンサート

日時：2014年 5月24日(土)

開場13:00 開演13:30～約2時間半

場所：メセナ枚方会館 2F ホール

枚方市新町 2-1-5 072-843-5551

(京阪枚方市駅より徒歩5分)

入場：無 料

出演：くらわんかカルテット

特別出演：村上 博昭氏 (関西ハーモニカ連盟 副理事長 他)

友情出演：八幡のかぐや姫 (オカリナ)

演奏曲：ナツメロ・演歌・童謡 等々、一緒に楽しく歌いましょう！



どうぞお気軽にお越し下さい。お待ちしております！！

(同合わせ・連絡先 山本 義信 072-850-0319 e-mail: yamag3@maia.eonet.ne.jp)

主催：くらわんかカルテット 後援：関西ハーモニカ連盟 阪奈ハーモニカ協議会
枚方ハーモニカ同好会

会員異動のお知らせ('14/04月号)

2014/2/12 現在
組織部長

当連盟では名簿を公開しておりますが、本人の申し出があれば個人情報(町名・地番・電話番号等)を非公開にできることが、2004/07/12の常任理事会により決議されました。会報第198号(2014年1月号)でお知らせ以降の会員異動は、次の通りです。

新入会

	氏名	〒	住所	電話番号	受付日
1	福田 勝	631-0025	奈良市学園新田町	3034-1-314 0742-41-4533	13/12/20
2	大西 重子	564-0061	吹田市田山町	15-34 06-7174-3798	14/01/12
3	藤江 建一	729-3423	広島県府中市上下町矢野	753-6 090-4895-5485	14/01/17
4	服部 恵美	631-0006	奈良市西登美ヶ丘	8-19-13 0742-45-9397	14/01/24
5	吉田 美鈴	739-2115	東広島市高屋高美が丘	3-22-3 082-434-6956	14/01/27
6	竹村 紫花	663-8233	西宮市津門川町	13-5-906 0798-35-2928	14/01/28
7	竹村 皦花	663-8233	西宮市津門川町	13-5-906 0798-35-2928	14/01/28

再入会

	佐藤 俊美	875-0043	大分県白杵市上塩田	1組	0972-63-7817	14/01/10
--	-------	----------	-----------	----	--------------	----------

住所変更

	山名 美代子	675-0067	加古川市加古川町河原	269-9	0794-23-1733	14/01/31
--	--------	----------	------------	-------	--------------	----------

電話・FAX番号変更

	道下 正裕				078-786-3306	14/01/21
--	-------	--	--	--	--------------	----------

退会

	氏名	理由			受付日
✓ 1	今井 倫子	自己都合			14/01/01
✓ 2	木村 和子	自己都合			14/01/01
✓ 3	稲生 菊江	自己都合			14/01/01
✓ 4	小北 一夫	自己都合			14/01/01
✓ 5	津守 敏子	自己都合			14/01/01
✓ 6	中野 進公	自己都合			14/01/01
7	野村 宏	自己都合			14/01/01
8	山田 武洋	自己都合			14/01/01
9	西山 知洋	逝去			14/01/10
10	矢野 慶子	自己都合			14/01/01
11	山鹿 英之	自己都合			14/01/01
12	平石 一夫	自己都合			14/01/01
13	片岡 則仁	自己都合			14/01/01
14	高比良 由郎	逝去			14/02/04
15	田中 玲子	自己都合			14/01/01

'13 ハーモニカ祭り(10/12~13開催)以降の入会者は、'14年度会員とします。

現在の個人会員数は 296 名です。

お願い；住所・住居表示・電話番号・市外局番等 名簿記載事項の変更は組織部へおしらせ下さい。

お詫びと訂正 編集部

前号(2013年10月発行、197号)に掲載しておりました、『ハーモニカ及び団体』に掲載漏れがございましたので、お詫びと訂正をさせていただきます。

北村ハーモニカ教室(個人) 京都市中京区三条烏丸東入ル梅忠町20-1 烏丸アネックス215号森本ギタースクール内
水・木・金・土・日 TEL:050-3736-7685

北村ハーモニカ教室(個人・インターネットTV電話) 受講生の自宅にて受講
水・木・金・土・日 TEL:050-3736-7685

ポピュラークロマチック・ハーモニカ(グループ) 京都府京都市中京区御池通河原町東入 御池阪急ビル3F
JEUGIA フォーラム御池 第2、4金10時 TEL:075-221-7272(代)

※上記3教室全て、クロマチックハーモニカです。

童謡詩人まど・みちお(本名石田道雄)さんが、2月28日老衰のため104歳の生涯を閉じられた。日本童謡協会(事務局長は当連盟・甲賀一宏特別顧問)の重鎮まどさんは、山口県出身。「ぞうさん」「やぎさんゆうびん」「ふしぎなポケット」「一ねんせいになったら」などたくさんの子どもの歌を書いた。

小学校のとき台湾に渡り、台北工業学校卒業後、台湾総督府に勤務していた1934年雑誌「ゴドモノクニ」に投稿した詩が北原白秋に選ばれ特選をとった。1936年「ふたあつ」が発売され注目を浴びる。1952年NHKラジオで、放送された「ぞうさん」「トロップスのうた」等を次々

発表。子どもから大人まで広く愛唱された。戦後を代表する童謡詩人として、私は尊敬している。私の本職も童謡詩人で、新しい童謡をビクターやキングなどからCDとして発表しているが、誰にも知られていない。私が出版社にいるとき作詞の仕事始めて、ペンネームが必要となった。そのとき「まど・みちお」になって、もりとけんの間「・」を入れたほどだ。慎んでご冥福をお祈りする。私も日本童謡協会の会員として、新しい童謡の創作活動とともに、昔からある宝物の日本の童謡を伝える活動をハーモニカを武器としてしていくことを心から誓いたいと思う。未来を担う子どもたちのためにも。

もり・けん

首の骨髄腫からリハビリで復帰した佐藤浩一さん(元大岡政談)のおきりめな人生(18日付)が反響を呼んでいます。横浜市の男性は

で童謡の意義を説いている。お年寄りの間で童謡を演奏すると、歌うのは教十

大阪市の童謡作家、ハーモニカ奏者のもり・けんさん(82)は日本の童謡の素晴らしさを伝える活動を続けています。「童謡は日本の文化遺産です。日本人が大切にすべきものがある。大切にしていきたいです」

出版社会で活躍した後、モンゴルに渡った。見守り限りの大草原。遊牧民と交流し、ゆったり流れる時間に身を委ねていると、こうした暮らしの方が人間らしいと人生観が変わった。子どもたちにハーモニカを披露すると言葉や文化が違っても心がつながっていく。小さなころ親や周

開から聞かされる歌が情緒を育てる改めて思った。福留し、大学や文化教室で童謡の意義を説いている。お年寄りの間で童謡を演奏すると、歌うのは教十

イラスト・平野 恵理子



うたた震

情緒育てる童謡を伝える

「おらゆる世代が一緒に歌えるのが童謡。私の親や祖父母の世代は子どもや孫が小さい頃、童謡を歌ってくれました。それは大切な財産になっている。私たちがの世代にそれをしなかったから、子どもたちが童謡を歌えない。今の活動は罪滅ぼしでもあるんです」
仲間と2008年に発行し始めた『童謡マガジン』(ぶんぶん)1月刊は「童謡にまつわる話や歌謡にある事物を使った折り紙教室、童謡を使った折り紙教室、童謡を使った折り紙教室の紹介など多彩なコーナーがあり、楽しみに待つ読者が全国にいます。今年は童謡のコンサートも増やし、直接童謡の長を多くの人に伝えていこうつもりだ」
(編集委員 堀田昇吾)

フリンチャナキヤナキの湯裏低木。早食、葉より早く白い絹手に覆われた種を出す。別名アカヤナキ

ご意見・ご感想をお寄せください。〒100-8005日本経済新聞こころページ編集室、電子メールkokoro@nex.nikkei.co.jp



次号 第200号(2014年7月号)の
原稿締切りは5月17日(土)、会報編集室必着でお願いいたします。
同封物締切りは6月7日(土) 発行は6月中下旬予定。

関西ハーモニカ連盟 会報 第199号 (2014年4月号)

発行人 吹上 晴彦
編集人 もり・けん
発行所 関西ハーモニカ連盟会報編集室
〒530-0037 大阪市北区松ヶ枝町 6-12 西栄ビル 2F H・U・N 企画内
TEL 06-6352-8005 FAX 06-6353-1393
e-mail: harmonica@cardandmedia.co.jp
印刷・製本 株式会社カード & メディア



春もハーモニカイベントが盛り沢山♪

Hammond梅田センターはさらにハーモニカ講座やイベントを充実させます♪

皆様のご要望にあわせたイベントを開催していきます♪イベントならではの展示や商品も! ?是非いらして下さい♪

楠 光恵 複音ハーモニカ スキルアップ講座 (全6回)

指導者、有資格者を対象に複音ハーモニカの演奏技術・楽典を学びます。
ハーモニカ振興会の講師資格を目指す方は受験対策にもなります。



4月4日よりスタート! 10:30~16:30 (午前・午後共に受講の場合)

受講対象者 振興会資格6級以上取得者 もしくは指導者経験のある方(資格未取得の方は受講のみになります)

- ＜講座A＞ メロディを主とし、複音ハーモニカの音色とリズムについての解説と実践 (振興会 講師資格に対応) 10:30~12:30(グループ 120分)
＜講座B＞ 複音ハーモニカの奏法の解説と実践 分散和音奏法 (振興会 5級資格に対応) 13:30~15:30(グループ 120分)
受講料 講座AB 共に 各 5,500円+税/回 *別途、教室管理費700円+税/回を頂きます
定員 AB講座 共に15名 *ハーモニカ振興会非会員の方は入会金1,000円(税込)(年会費はございません)が必要です。

大竹康雄 ハーモニカ交流サロン "アルトシングル(ホルン系)ハーモニカの魅力"



5月11日(日) 10:00~15:00 (お昼休憩あり)

独特の音色を響かせるアルトシングル(ホルン系)ハーモニカの第一人者大竹康雄先生を迎え
独奏、アンサンブルの演奏テクニックを伝授します。ミニコンサートも行います♪

定員 15名
参加料 2,000円+税 (資料代込)
アルトシングル、ホルンハーモニカをお持ちの方はご持参ください。また、興味のある方は聞いただけでも参加できます。
イベント・講座の詳細は Hammond梅田センターまでお問い合わせ下さい

5月12日(月)

ご予約はお早めに!!

~ハーモニカ メンテナンス講座~ 詳細はお問い合わせ下さい♪



午前 合同メンテナンス講座 (定員 各講座 10名)
午後 個人メンテナンス (修理・調律etc...予約制)*1人30分、2本までです。

参加料 合同講座1,100円(税込) 個人メンテナンス会 1,600円(税込)

ハーモニカ各種の部品販売もしています!お気軽にお越し下さい♪
レンタルルームもあります。大人数の練習に最適♪

昔吹いた楽しさを再び!そんな方は...

初級~上級の方までOK 気軽に楽しく複音ハーモニカ

講師 大石喜一郎 岡谷秀喜
水・土 月3~4回 受講料 6,000円+税 ~
30分個人レッスン *別途管理費が1,300円+税/月必要です

レッスンより気軽に楽しみたい方には...

イチオン! みんなで楽しく クロマチックハモサークル♪

アドバイザー 宮田 薫
日曜日 月2回 参加料 3,000円+税
90分グループサークル *別途管理費が700円+税/月必要です

Hammond梅田ミュージックセンター

営業時間:10:00~20:30 (日曜・祝日10:00~18:00)

大阪市北区芝田2-6-30 梅田清和ビル4階
TEL:06-6359-2638
「Hammond梅田センター」で検索♪



募集中!!

**ハーモニカ
と
ワンショット**

お子さん、お孫さん、ご家族の方々、親しい仲間、かわいいペット、大切にしているもの、風景など…ハーモニカと一緒に写っている写真を広く会報読者から募集しています。採用分は会報の表紙または裏表紙に掲載いたします。ふるってご応募ください。プリントまたは写真データを郵便またはメール添付便で下記までお送りください。

関西ハーモニカ連盟会報編集室「ハーモニカとワンショット」係
〒530-0037 大阪市北区松ヶ枝町 6-12 西栄ビル 2F H・U・N企画内
e-mail: harmonica@cardandmedia.co.jp